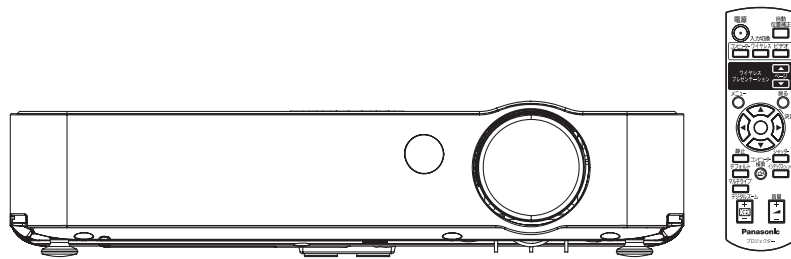
Panasonic®

取扱説明書

液晶プロジェクター 業務用

品番 PT-LB51NT

このたびは、パナソニック液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（４～８ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■ 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

TQBH0181-1

もくじ

■投写するまでの手順
詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(16 ページ)

↓

2. 本機と外部機器を接続する
(18 ページ)

↓

3. 電源コードを接続する
(20 ページ)

↓

4. 電源を入れる
(22 ページ)

↓

5. 投写する映像を選択する
(24 ページ)

↓

6. 映りを調整する
(24 ページ)

安全上のご注意

はじめに

準備

基本的な使い方

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

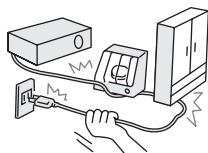
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）**

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

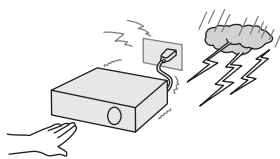
⚠警告

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■電源プラグのほこりは定期的に掃除をする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

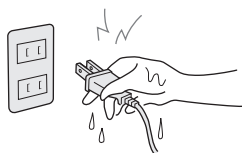
⚠警告

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手
禁止

感電の原因となります。

■内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

禁止

ショートや発熱により火災・感電の原因となります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■異常があったときは、電源プラグを抜く

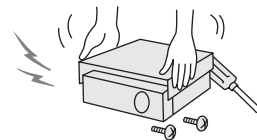
電源プラグ
を抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音がでたとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご依頼ください。

■分解したり、改造したりしない

分解禁止

内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

	高圧注意
	サービスマン以外の方はケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■通風孔（排気孔）には手や物を近づけない

禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から 15 cm 以上離して設置してください。

■風呂場、シャワー室では使用しない

禁止

火災・感電の原因となります。

⚠警告

■使用中は投写レンズをのぞかない

禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

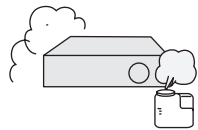
- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は電源プラグを抜いてください。

■天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者に依頼する

工事の不備があると事故の原因となります。

■当社で指定した天つり金具を使用する

天つり金具に不備があると事故の原因になります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下する恐れがあります。

■カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない

禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■ランプユニットの交換は、必ず電源プラグを抜き、ランプユニットが冷えてから（1 時間以上待って）行う

内部に触れると感電や破裂、やけどの原因となります。

■電池は誤った使い方をしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- ＋と－を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- ＋と－を逆に入れない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

■電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

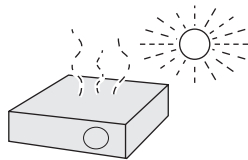
⚠警告

■使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

● そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

■異常に温度が高くなるところに置かない

禁止

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■移動させる場合は、必ず接続線を外す

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

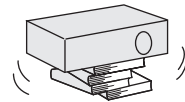
■放熱を妨げない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
● 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。

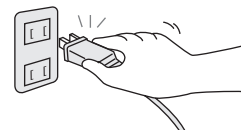
■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

禁止

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

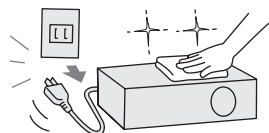
■本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

禁止

● 倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く

コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

⚠注意

■長時間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災や感電の原因になることがあります。

■長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■ランプが破裂したときは、直ちに換気を行い、触ったり、顔を近づけない

散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまう恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■1 年に 1 度は内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

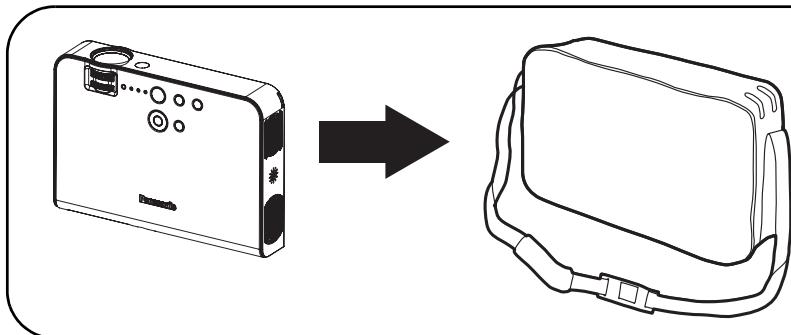
- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。
なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

■運搬時は、付属のキャリングバックを利用してください

キャリングバックには、本体のレンズを上側にして収納してください。

- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時には特にご留意ください。

本体、ケーブルおよびリモコン以外は入れないようにしてください。

アジャスター脚を伸ばした状態で収納しないでください。破損する恐れがあります。

設置に関する留意点

■以下の場所には設置しないでください

- 振動や衝撃が加わる場所：内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（使用環境条件 ☞53 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあり、熱により本体が変形し、故障や火災の原因となることがあります。

- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者にご依頼ください

別売りの天つり金具が必要です。
品番：ET-PKB50

■海抜 1 400 m 以上でご使用の際は、「高地設定」を「オン」に設定してください（☞39 ページ）

「オン」に設定しないと部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。
また、故障の原因になる場合があります。

■本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください（☞16 ページ）

上下方向に± 30 度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

■屋外に設置しないでください

本機は、室内でご使用ください。

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために
スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

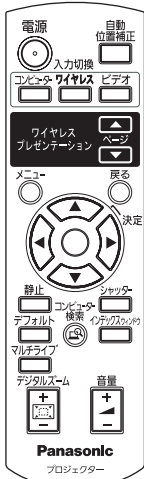
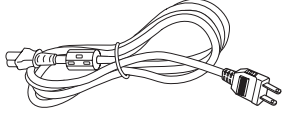
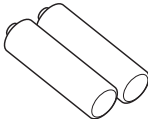
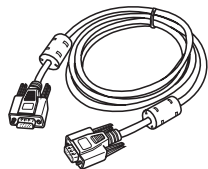
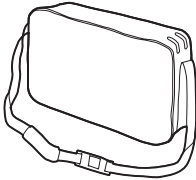
■投写レンズは素手でさわらないでください
指紋や汚れがつくと、スクリーンに汚れが映ります。

■スクリーンについて
スクリーンに変色の原因となる揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。詳しくは、お使いのスクリーンの取扱説明書をご覧ください。

■液晶パネルについて
本機には映像表示部品として、３枚の液晶パネルを使用しています。液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

■廃棄について
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

■光学部品について
毎日 6 時間以上連続使用される場合、1 年未満でも液晶パネルや、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ランプについて
本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。
- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などで大きな音で破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に 10 時間以上の連続使用や頻繁な電源の入り / 切りの繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。（交換時期／交換手順 ☞45 ページ）

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意
コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のインターフェースケーブルを使用してください。プロジェクターの外部制御でシリアル端子を使ってパソコンに接続する場合は、別売りのフェライトコア付き RS-232C シリアル端子変換アダプターを必ず使用してください。

付属品の確認

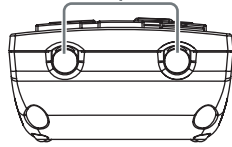
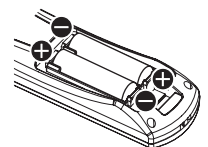
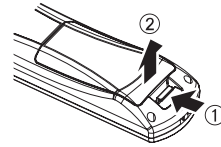
下図の付属品が入っていることを確認してください。

リモコン：1 個 (N2QAYB000170)	電源コード：1 本 (TXFSX03VKE7)	リモコン用単 3 形乾池 ：2 個	RGB 信号ケーブル ：1 本 (1.8 m VGA 用、 K1HA15DA0002)
	キャリングバック：1 個 (TPEP018)	CD-ROM：1 枚 (TQBH9009)	無線国内注意ラベル： 1 枚 (TQFC926)

各部の名称とはたらき

リモコン

■ 天面

リモコン発信部

リモコンの電池の入れかた

■ 正面

本体の電源を「入」「切」する
(☞22 ページ)

コンピューター信号を入力時に映像を投写しながらこのボタンを押せば、「表示位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正する
(☞26 ページ)

投写する入力信号を選択する
(☞25 ページ)

ワイヤレス入力信号を選択時に使用する

付属のCD-ROMをご覧ください

メニュー画面操作に使用する
(☞30 ページ)

メニューを表示する
(☞28 ページ)

映像を一時的に静止させる
(☞25 ページ)

映像と音声を一時的に消す
(☞25 ページ)

静止画像と動画の2画面表示する (☞26 ページ)

調整値を工場出荷状態に戻す
(☞26 ページ)

ネットワーク接続可能なコンピューターを検索する

付属のCD-ROMをご覧ください

ワイヤレス入力信号を選択時に使用する

付属のCD-ROMをご覧ください

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整する (☞27 ページ)

映像を拡大する
(☞27 ページ)

電源 / 自動位置補正 / 入力切換 / コンピューター / ワイヤレス / ビデオ / ワイヤレスプレゼンテーション / ページ / メニュー / 戻る / 決定 / 静止 / シャッター / コンピューター検索 / デフォルト / インデックスウィンドウ / マルチライブ / デジタルズーム / 音量 / Panasonic / プロジェクター

使用状況に合わせてストラップを取り付けることができます

お願い：
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンの電池には、種類の違うものや、新・旧を一緒にしないで、アルカリ乾電池またはマンガン乾電池をご使用ください。
- リモコンにストラップを取り付けた場合、ストラップを持って振り回さないでください。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できない場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

お知らせ：
- リモコンを直接、本機の前面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約 15 m 以内でご使用ください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
  リモコンからの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより操作有効範囲に制限がでる場合があります。

本体

■前面・上面・右側面

ランプモニター
ランプユニットの
状態を表示します
(☞43 ページ)

照度センサー
明るさを検知します
(☞32 ページ)

LAMP　TEMP　COMPUTER INPUT

コンピューター入力モニター
コンピューター入力端子に
信号が入力されている場合に
点灯します
(☞43 ページ)

温度モニター
内部温度の
状態を表示します

ズームリング
投写サイズを
調整します
(☞24 ページ)

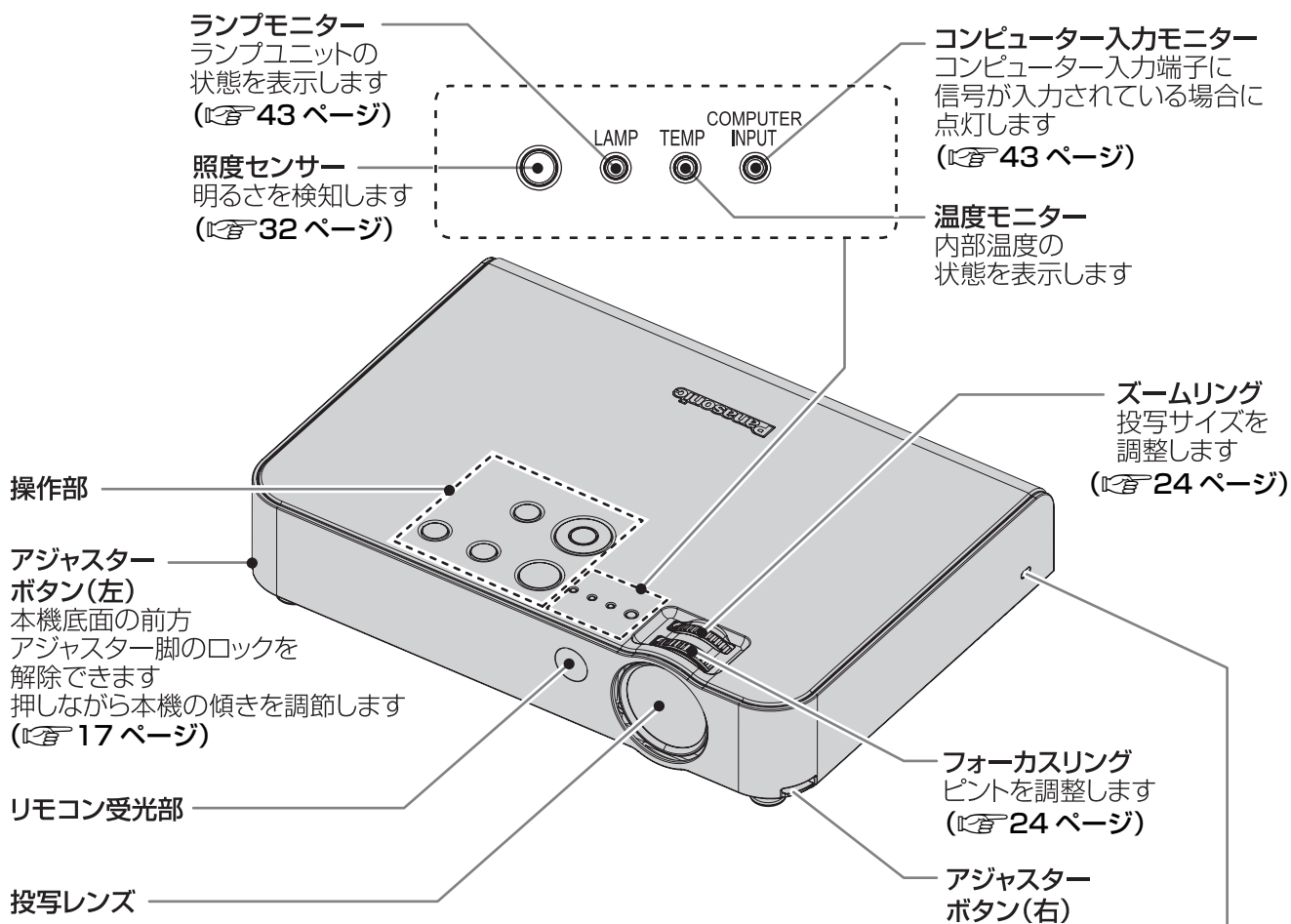
操作部

**アジャスター
ボタン(左)**
本機底面の前方
アジャスター脚のロックを
解除できます
押しながら本機の傾きを調節します
(☞17 ページ)

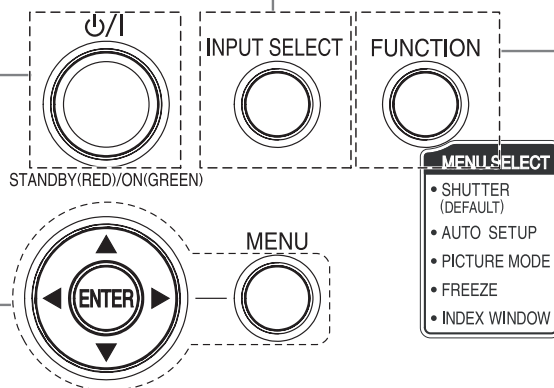
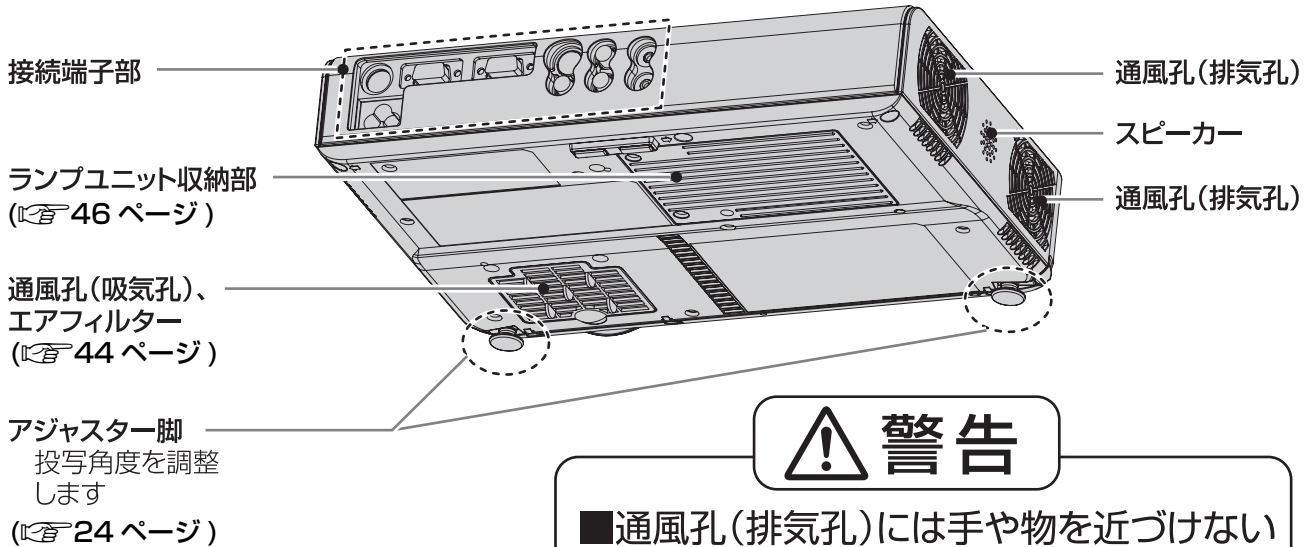
リモコン受光部

投写レンズ

フォーカスリング
ピントを調整します
(☞24 ページ)

**アジャスター
ボタン(右)**

セキュリティースロット
このセキュリティースロットは、Kensington社製
セキュリティーケーブルに対応しています。
Kensington社製セキュリティーケーブルについての
お問い合わせは、右の通りです。

七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町2-55-7　ナナヨウビル
Tel:03-3663-7740
Fax:03-3669-2367
※連絡先は変更になる可能性があります。ご了承ください。

■操作部

■後面・底面・左側面

⚠警告

■通風孔（排気孔）には手や物を近づけない

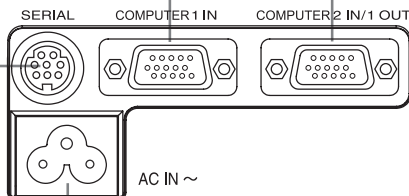
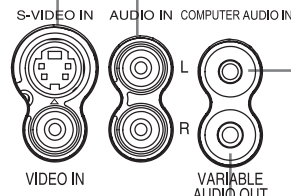
禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

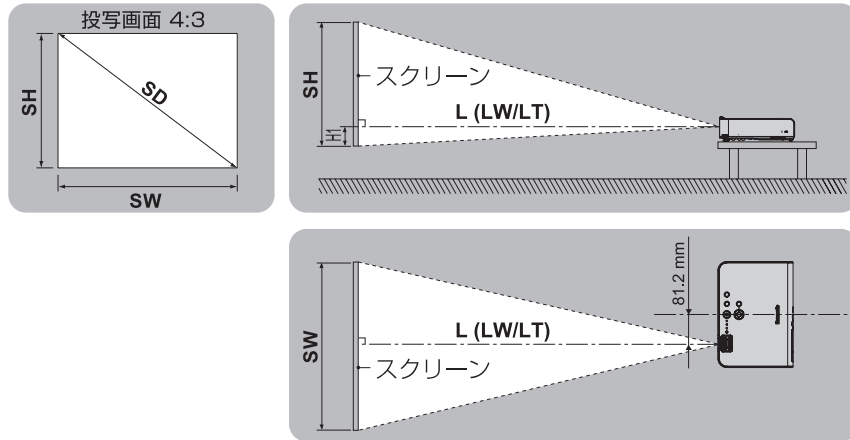
●周辺の壁や物から15cm以上離して設置してください。

お願い：

- 付属品以外の電源コードは接続しないでください。
- 吸気孔・排気孔は、ふさがないようにしてくだい。

■接続端子部

設置する

投写画面サイズと設置位置

本機は、1.2 倍ズームレンズの採用により、投写画面サイズの調整ができます。投写する画面サイズと投写距離を確認し設置位置を決定してください。

（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

投写画面サイズ（アスペクト４：３の場合）			投写距離 （L）		高さ位置 (H1)
対角（SD）	高さ（SH）	幅（SW）	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	
33 インチ (0.84 m)	0.50 m	0.67 m	—	1.1 m	0.07 m
40 インチ (1.02 m)	0.61 m	0.81 m	1.2 m	1.4 m	0.08 m
50 インチ (1.27 m)	0.76 m	1.02 m	1.6 m	1.8 m	0.11 m
60 インチ (1.52 m)	0.91 m	1.22 m	1.9 m	2.1 m	0.13 m
70 インチ (1.78 m)	1.07 m	1.42 m	2.2 m	2.5 m	0.15 m
80 インチ (2.03 m)	1.22 m	1.63 m	2.5 m	2.9 m	0.17 m
90 インチ (2.29 m)	1.37 m	1.83 m	2.8 m	3.3 m	0.19 m
100 インチ (2.54 m)	1.52 m	2.03 m	3.1 m	3.6 m	0.21 m
120 インチ (3.05 m)	1.83 m	2.44 m	3.7 m	4.4 m	0.25 m
150 インチ (3.81 m)	2.29 m	3.05 m	4.6 m	5.5 m	0.32 m
200 インチ (5.08 m)	3.05 m	4.06 m	6.2 m	7.3 m	0.42 m
250 インチ (6.35 m)	3.81 m	5.08 m	7.7 m	9.2 m	0.53 m
300 インチ (7.62 m)	4.57 m	6.10 m	9.2 m	11.1 m	0.64 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（インチ）から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

● 投写画面サイズ（アスペクト４：３の場合）

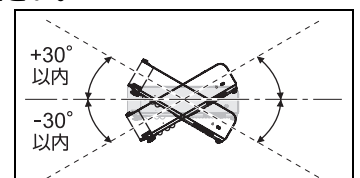
投写画面サイズ 高さ（SH）	= SD × 0.0152
投写画面サイズ 幅（SW）	= SD × 0.0203
最短投写距離（LW）	= 0.0307 × SD - 0.031
最長投写距離（LT）	= 0.0371 × SD - 0.029

● 投写画面サイズ（アスペクト 16：９の場合）

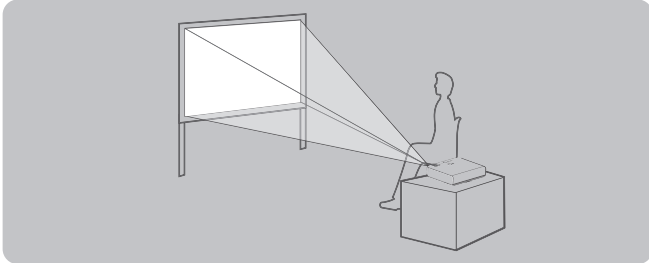
投写画面サイズ 高さ（SH）	= SD × 0.0125
投写画面サイズ 幅（SW）	= SD × 0.0221
最短投写距離（LW）	= 0.0335 × SD - 0.0315
最長投写距離（LT）	= 0.0405 × SD - 0.0365

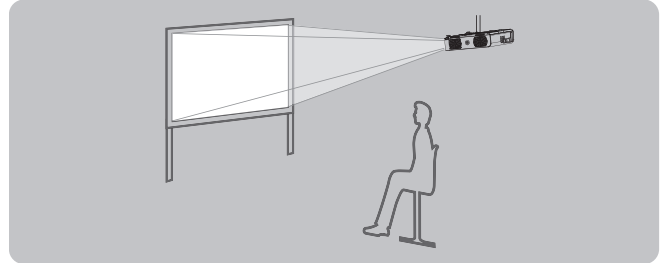
お願い：

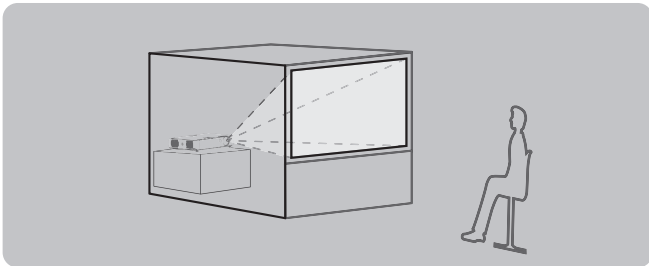
- 美しい映像をご覧いただくためには、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
  本機を傾けて設置する場合は、上下方向に± 30 度以内にしてください。
  本機を上下方向に± 30 度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

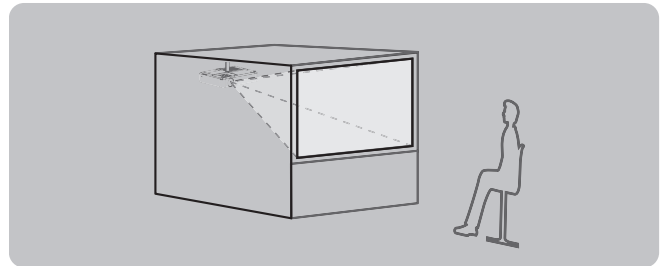
準備

投写方式

本機は、下図の４通りの投写方式が選択可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。
投写方式の設定は「本体設定」メニューの「設置方法」で設定します。（☞39 ページ）

■床置きで前方に投写する場合

メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 床置き

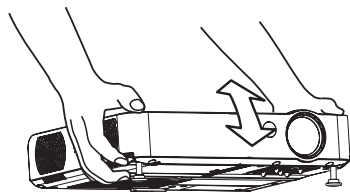
■天つり設置で前方に投写する場合

メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 天つり

■床置きで後方に投写する場合（透過スクリーン使用）

メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 床置き

■天つり設置で後方に投写する場合

メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 天つり

お知らせ :
- 天つり（シーリング）設置には、別売りの天つり金具が必要です。
  品番：ET-PKB50

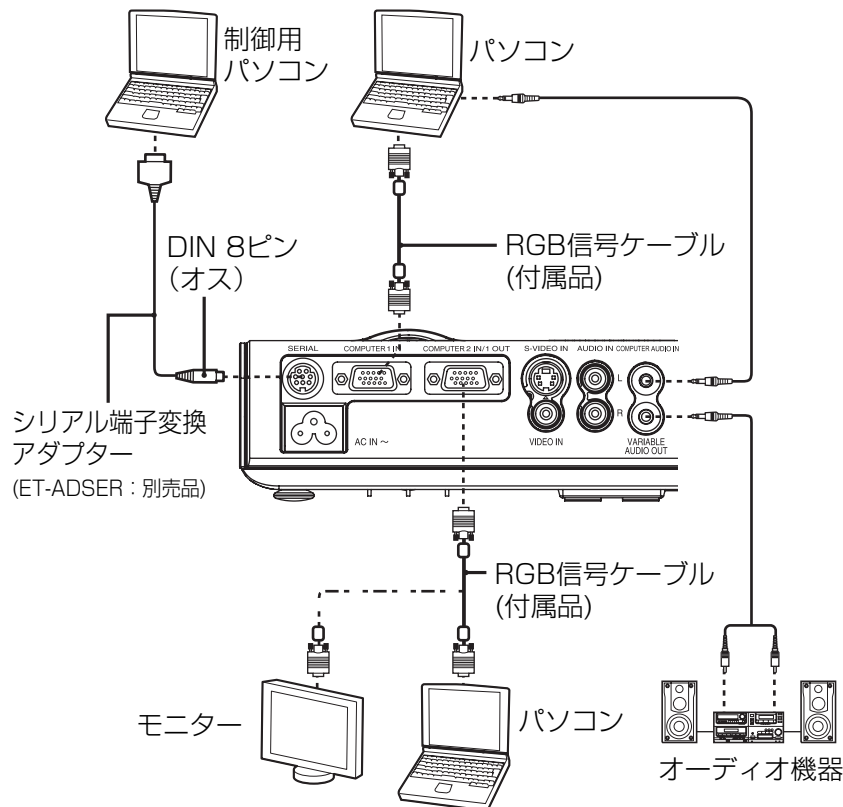
アジャスター脚による投写角度調整

アジャスターボタンを押すことで、上下方向に投写角度を調整できます。

お願い :
- 排気孔からは熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、ご注意ください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞34 ページ）

接続する

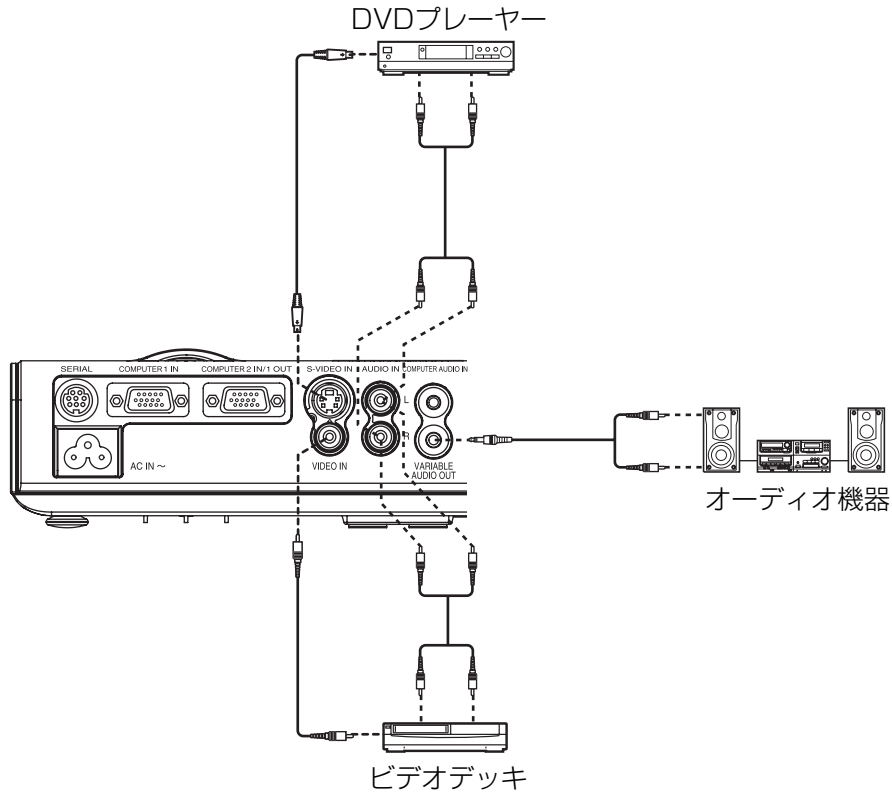
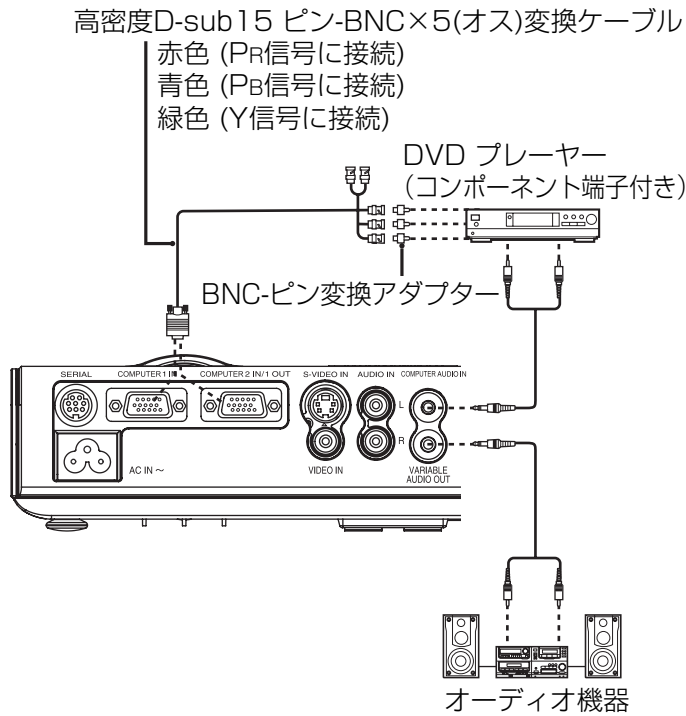
接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機と接続できる映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。(☞49 ページ)
- コンピューター 1/ コンピューター 2 用音声入力（PC AUDIO IN）端子は、1 系統です。
  複数のコンピューターを接続される場合は差し換えてご使用ください。
- ビデオ /S ビデオ用音声入力端子（AUDIO IN L-R）端子は、1 系統です。
  複数の機器を接続される場合は差し換えてご使用ください。
- 「デジタルズーム」と「インデックスウィンドウ」は、信号ケーブルを抜いたり、各機器の電源を切ると機能が解除されます。(☞26 ページ、☞27 ページ)

準備

コンピューター入力端子の接続

お知らせ :

- 本機とコンピューターとのワイヤレス通信については、付属の CD-ROM をご覧ください。
- 「本体設定」メニューの「COMPUTER2 入出力選択」を「出力」に設定しているときは、コンピューター 2 入力 / コンピューター 1 出力 (COMPUTER2 IN/1 OUT) 端子に信号を入力しないでください。(☞38 ページ)

S ビデオ / ビデオ入力端子の接続

コンポーネント入力端子の接続

お知らせ :

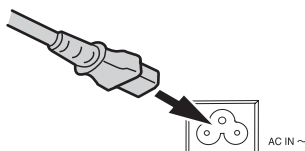
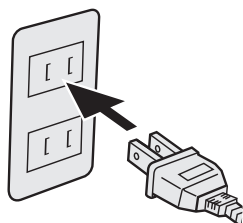
- BNC 接栓付きケーブルでビデオ信号を接続する場合は、BNC- ピン変換アダプター（市販品）をご使用ください。

電源を入れる / 切る

電源コードの接続

付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。
取り扱いについて詳しくは「安全上のご注意」をご覧ください。（☞4 ～ 8 ページ）

■取り付け方

1）本機後面の AC 入力端子（AC IN ～）と電源コードのコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む

2）電源プラグをコンセントに差し込む

お願い：

● 電源コードを接続する前に、外部機器を接続してください。（☞18、19 ページ）

■取り外し方

1）電源ボタンの電源モニターが赤色に点灯していることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

2）本機の AC 入力端子（AC IN ～）から電源コードのコネクタを抜く

■ダイレクトパワーオフ機能

本機は、内蔵電源を搭載しており電源プラグを抜いた状態でも冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので、映像を投写中や冷却ファンが回転中（電源ボタンがオレンジ色に点灯）に電源コードを取り外すことができます。

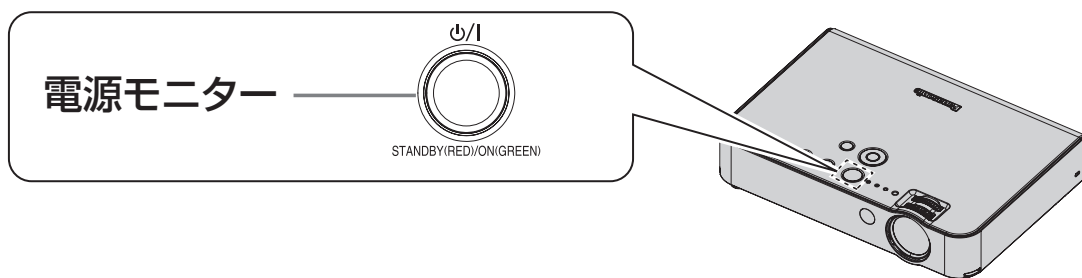
お知らせ：

● 電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなることがあります。
● 電源ボタンがオレンジ色に点灯している間はキャリングバッグ等に入れないでください。

■ダイレクトパワーオン機能

●「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源コードを接続するだけで投写を開始します。（☞38 ページ）

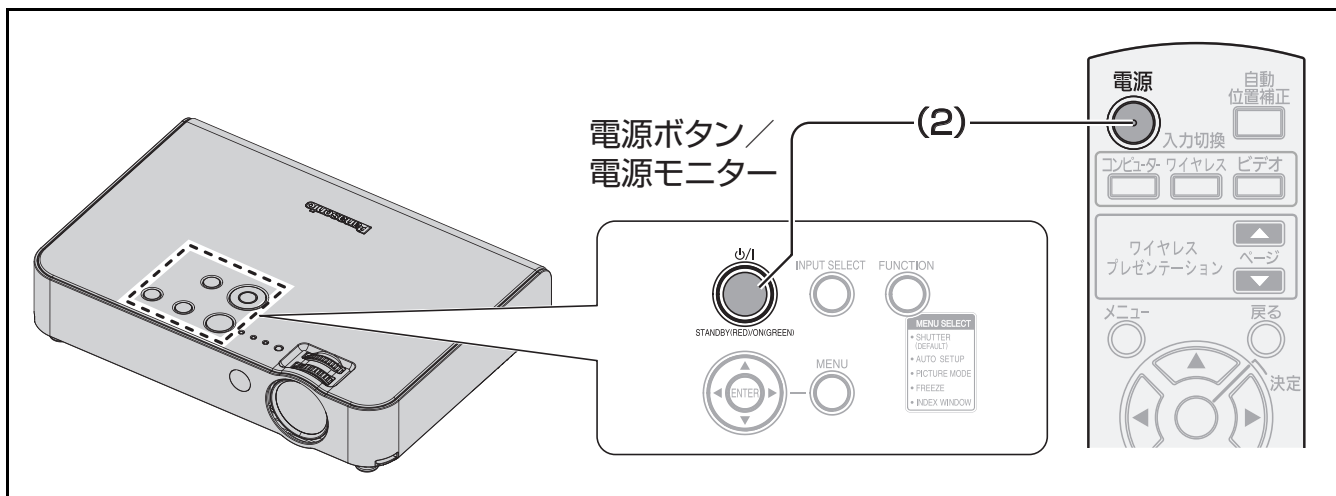
電源モニターについて

電源の状態を表示します。電源ボタンの電源モニターの状態をよく確認し、操作してください。

点灯状況		本機の状態
赤色	点灯	電源オフ状態（スタンバイ） 電源ボタンで映像を投写します ※ランプ、温度モニター点滅時は動作しません（☞43 ページ）
緑色	点滅	投写準備状態 しばらくすると映像を投写します
	点灯	投写状態（ON）
オレンジ色	点灯	電源オフ準備状態（冷却中） しばらくすると電源オフ状態になります
	点滅	電源オフ準備状態中に電源ボタンを押した状態 しばらくすると映像を投写します

お知らせ :

- 電源オフ準備状態（電源モニターがオレンジ色に点灯）は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。
- 電源オフ準備状態に、電源ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態（電源モニターが赤色に点灯）でも約 3 W の電力を消費しています。

電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続を確認してください。（☞18 ページ）

（1）本機に電源コードを接続する

電源モニターが赤色に点灯します。

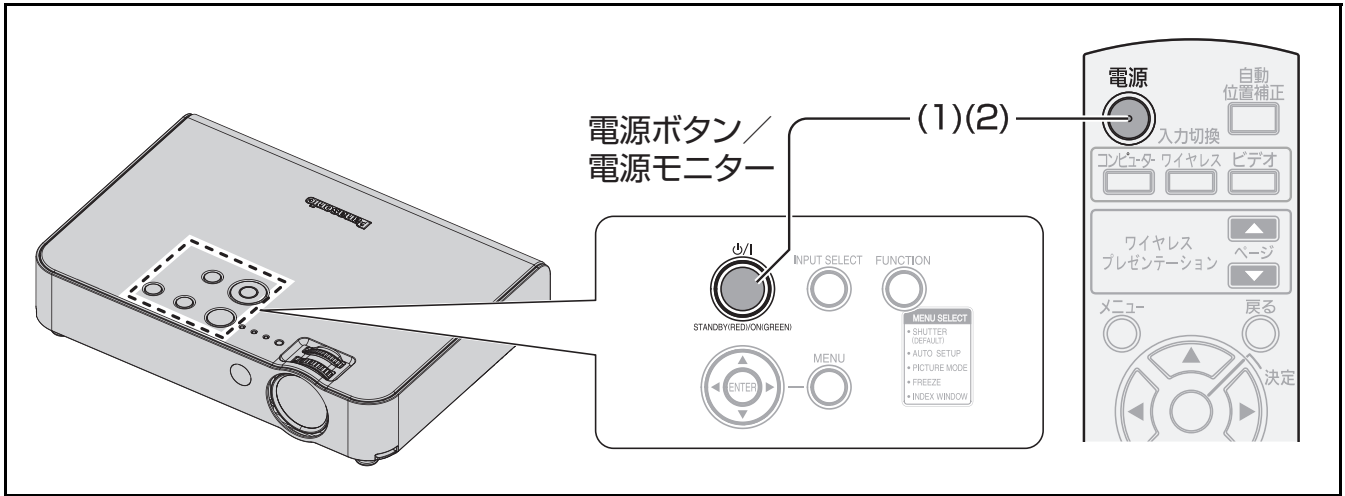
（2）電源ボタンを押す

電源モニターが緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、スタートアップロゴが投写されます。
スタートアップロゴについては「本体設定」
メニューの「スタートアップロゴ」をご覧ください。（☞37 ページ）

お知らせ :

- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時や消灯時には、動作音が大きくなります。
- 「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源コードを接続するだけで投写を開始します。（☞38 ページ）
- ランプ消灯直後に、再び点灯を行った場合、ランプの特性上、投写開始後少しの間映像がチラつく場合がありますが、これは故障ではありません。

電源を切る

電源モニターの状態をよく確認し、操作してください。（☞21 ページ）

(1) 電源ボタンを押す

画面に電源オフ確認画面が表示されます。

(2) もう一度電源ボタンを押す

ランプが消え映像の投写が停止。（冷却ファンは回転したままで、電源モニターがオレンジ色に点灯します。電源モニターが赤色に点灯するまでお待ちください。）

- 電源ボタン以外のボタンを押すか、約 10 秒たつと電源オフ確認画面が消えます。

(3) 電源モニターが赤色に点灯したら、本機から電源コードを取り外す

- お急ぎの場合は、ダイレクトパワー機能にて、本機から電源コードを取り外すこともできます。（☞20 ページ）

お知らせ：
- 電源ボタンを 0.5 秒以上押しても電源を切ることができます。

投写する

外部機器の接続（☞18、19 ページ）、電源コードの接続（☞20 ページ）を確認し、電源を入れる（☞22 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、投写の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

1）接続機器の電源を入れる

DVD プレーヤー等、接続機器の再生を行ってください。
「本体設定」メニューの「入力検出」が「オン」の場合は、本機の電源を入れたとき、自動的に入力中の信号を検出し投写します。
（☞39 ページ）

- 「本体設定」メニューの「入力ガイド」を「詳細表示」に設定し、本機が入力信号を検出できないときは、PC 接続時のヘルプ画面が表示されます。(☞37 ページ)

2）映像の入力を切り換える

入力切換ボタンで選択した映像が投写されます。
（☞25 ページ）

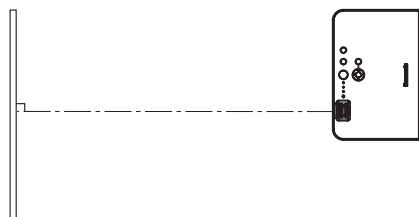
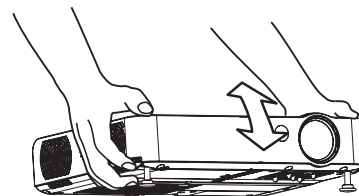
お願い：

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、「映像調整－詳細設定」の「ＴＶ システム」を設定してください。（☞33 ページ）
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、最適なアスペクト比に切り換えてください。（☞35 ページ）

投写の映り具合を調整する

はじめて設置されるときや、場所を変えて設置されるときは、つづけて下記の調整を行ってください。

1）投写角度を調整する

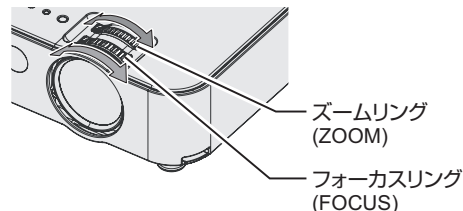
- 本機はスクリーンに対して垂直になるよう設置してください。

- アジャスターボタンを押しながら、上下に調整します。その後、投写映像がスクリーン中央にくるように調整してください。

2）自動位置補正ボタンを押す（コンピューター信号入力時）

- 自動的に映像の位置などを補正します。

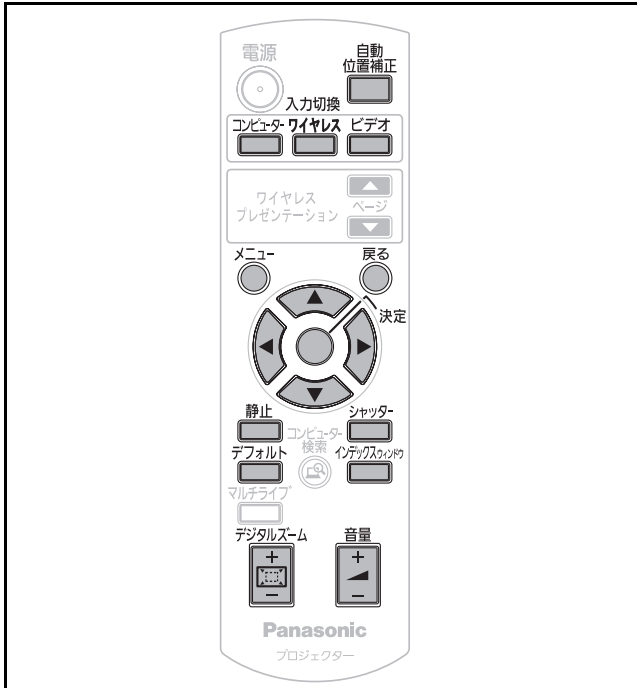
3）投写サイズを調整する

- ズームリングを回して、調整します。

4）フォーカス（ピント）を調整する

- フォーカスリングを回して、調整します。

お知らせ：

- フォーカスリングを回すと、投写サイズが変わるのでズームリングを回して、再度投写サイズを微調整します。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞34 ページ）

リモコンで操作する

映像を一時的に静止させる

外部機器の再生に関係なく投写映像を一時的に静止し、音声はミュートされます。

静止　を押す

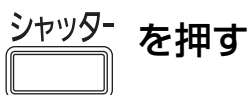
もう一度押すと解除されます。

お知らせ :

- ファンクションボタン（☞37 ページ）を「静止」に設定している場合は、本体操作部の「FUNCTION」ボタンを押すことでも動作させることができます。

映像・音声を一時的に消す（シャッター）

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合に、映像と音声を一時的に消して、消費電力を少なくすることができます。

シャッター　を押す

リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。

お知らせ :

- 「本体設定」メニューの「シャッター」でも動作させることができます。（☞40 ページ）
- ファンクションボタン（☞37 ページ）を「シャッター」に設定している場合は、本体操作部の「FUNCTION」ボタンを押すことでも動作させることができます。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。

■コンピューター

コンピューター　を押す

ボタンを押すごとに切り換わります。

COMPUTER1	コンピューター１入力端子に接続した信号
COMPUTER2	コンピューター２入力端子に接続した信号

■ワイヤレス

ワイヤレス　を押す

WIRELESS	無線 LAN を使ってコンピューターから「Wireless Manager ME4.0」で送信する信号（☞42 ページ）

■ビデオ

ビデオ　を押す

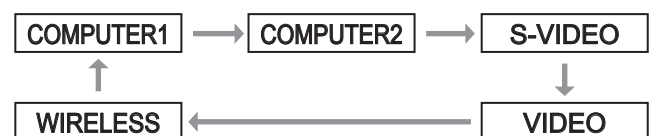
ボタンを押すごとに切り換わります。

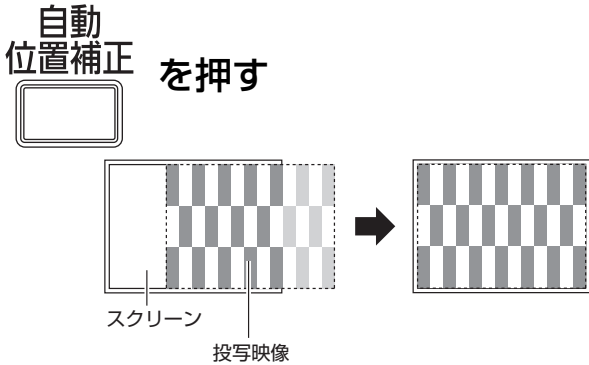
S-VIDEO	S ビデオ入力端子に接続した信号
VIDEO	ビデオ入力端子に接続した信号

お願い :

- 「対応信号リスト」で記載している信号を入力してください。（☞49 ページ）

お知らせ :

- 「本体設定」メニューの「COMPUTER 2 入出力選択」を「出力」に設定しているときは、COMPUTER 2 入力を選択することはできません。（☞38 ページ）
- 入力端子については「接続する」をご覧ください。（☞18 ページ）
- 本体操作部で「INPUT SELECT」ボタンを押すと下記の順に切り換わります。

表示位置を自動補正する

コンピューター信号入力時「表示位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。

お知らせ：

- 入力検出も実行されます。（「入力検出」を「オン」に設定時 ☞39 ページ）
- ドットクロック 100MHz を超える信号入力時「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は、自動設定されません。（☞34 ページ）
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して「自動補正」を動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてから、もう一度「自動位置補正」ボタンを押してください。
- ファンクションボタン（☞37 ページ）を「自動位置補正」に設定している場合は、本体操作部の「FUNCTION」ボタンを押すことでも「自動補正」できます。

出荷状態に戻す

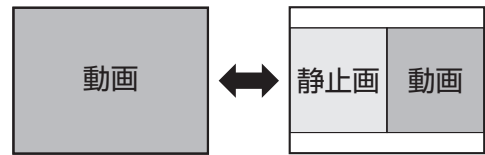
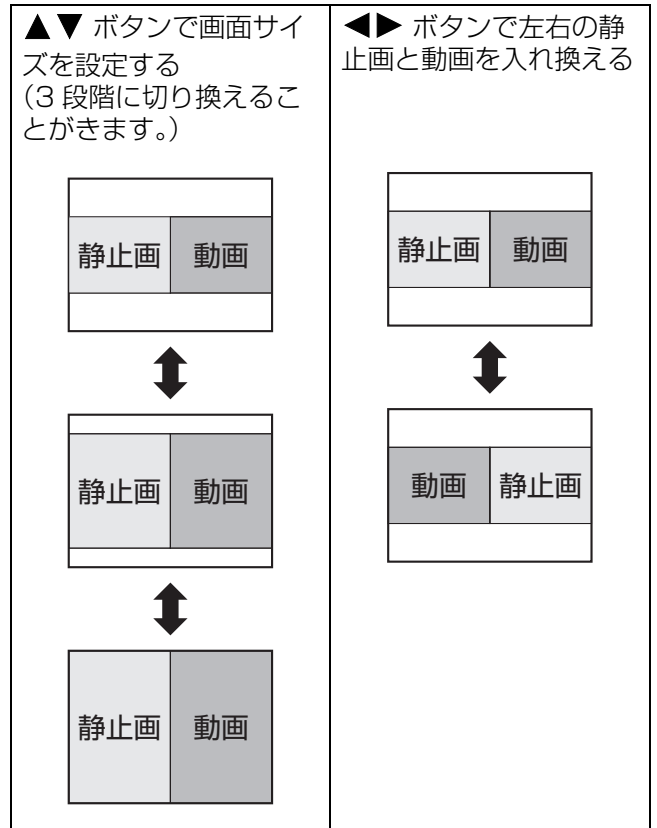
設定・調整の値を工場出荷状態にもどします。

デフォルト を押す

- 詳しくは、「オンスクリーンメニュー」の「メニュー画面操作方法－調整値を工場出荷時の状態に戻す」をごらんください。（☞30 ページ）

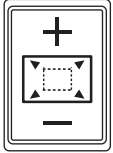
インデックスウインドウで表示する

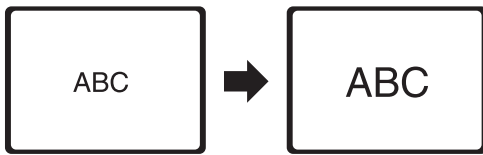
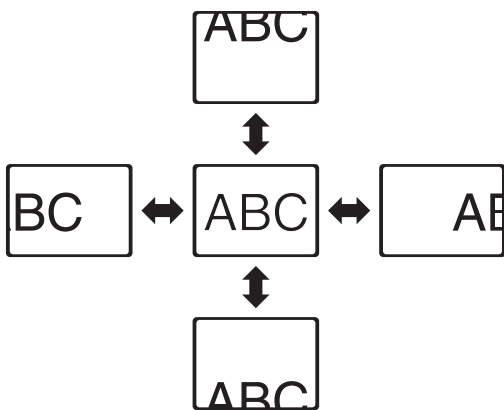
投写中の画像をメモリーに記録し、静止画と動画の 2 画面表示することができます。

インデックスウインドウ (INDEX WINDOW) を押したときの画面が静止画になります。
「戻る」ボタンを押すと解除されます。

■インデックスウインドウ表示中のボタン機能

お知らせ：

- 画像のアスペクト比が変わり、映像が通常より縦長になります。
- 画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。（☞35 ページ）
- 「決定」ボタンで静止画が更新されます。
- 「本体設定」メニューの「インデックスウィンドウ」でも動作させることができます。（☞40 ページ）
- ファンクションボタン（☞37 ページ）を「インデックス」に設定している場合は、本体操作部の「FUNCTION」ボタンを押すことでも動作させることができます。

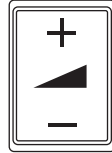
映像を拡大する

入力画像を中心に 1.5 倍に拡大して表示することや、拡大した表示部分を移動することができます。

を押す

「戻る」ボタンを押すと解除されます。

■デジタルズーム中のボタン機能

お知らせ：

- 倍率は、1.0 倍から 2.0 倍まで 0.1 ごとに調整できます。また、コンピューター信号入力時に「位置調整」メニューの「フレームロック」が「オフ」の場合 1.0 倍から 3.0 倍まで、「オン」の場合 1.0 倍から 2.0 倍まで調整できます。（☞36 ページ）
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます

音量を調整する

内蔵スピーカーまたは、音声出力の音量を調整することができます。

を押す

- **＋ボタン……音量を大きくする**
- **－ボタン……音量を小さくする**

お知らせ：

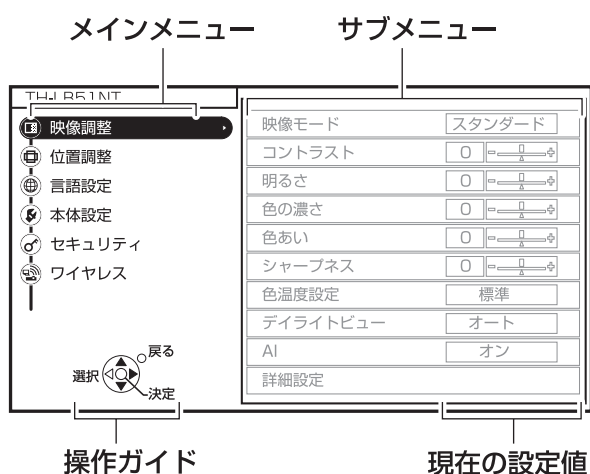
- 「本体設定」メニューの「音量」からも調整できます。（☞40 ページ）

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整はオンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご確認ください。（☞30 ページ）

オンスクリーンメニュー

オンスクリーンメニューが表示されます。
オンスクリーンメニューは、メインメニューとサブメニューで構成されています。

を押す

各メニューの操作方法が表示されます。

メインメニュー

メインメニューには以下の6つの項目があります。
メインメニューを選択するとサブメニューの選択画面に移ります。

	映像調整
	位置調整
	言語設定
	本体設定
	セキュリティ
	ワイヤレス

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■映像調整 [ ]

項目の詳細（☞31 ～ 33 ページ参照）

● S ビデオ / ビデオ / コンポーネント信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード	31
コントラスト	0	31
明るさ	0	31
色の濃さ	0	31
色あい	0	31
シャープネス	0	31
色温度設定	標準	32
デイライトビュー	オート	32
AI	オン	32
詳細設定 *1		33

● コンピューター / ワイヤレス信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	ダイナミック	31
コントラスト	0	31
明るさ	0	31
シャープネス	0	31
色温度設定	標準	32
デイライトビュー	オート	32
AI	オン	32
詳細設定 *2		33

*1 : S ビデオ / ビデオ信号入力時のみ
*2 : コンピューター信号入力時のみ

お知らせ :
● 映像モードによって工場出荷時の値が異なります。

■位置調整 [ ]

項目の詳細（☞34 ～ 36 ページ参照）

● S ビデオ / ビデオ信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	34
台形補正	0	34
表示位置	0	34
アスペクト	4：3	35
リサイジング	オン	36

● コンピューター / コンポーネント信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	34
台形補正	0	34
表示位置	0	34
ドットクロック *1	0	34
クロックフェーズ	0	35
アスペクト *2	4：3	35
リサイジング	オン	36
フレームロック *1	オフ	36

*1：コンピューター信号入力時のみ
*2：コンポーネント（480i、576i、480p、576p）信号入力時のみ

● ワイヤレス信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	34
台形補正	0	34

■言語設定 [ ]

項目の詳細（☞36 参照）

■本体設定 [ ]

項目の詳細（☞37 ～ 40 ページ参照）

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
入力ガイド	詳細表示	37
スタートアップロゴ	オン	37
ファンクションボタン	シャッター	37
COMPUTER2 入出力選択	入力	38
ランプパワー	標準	38
ランプ使用時間	ー	38
電源オフタイマー	オフ	38
ダイレクトパワーオン	オフ	38
本体ボタン操作	有効	39
自動位置補正	オート	39
入力検出	オン	39
設置方法	フロント / 床置き	39
高地設定	オフ	39
RGB/YPBPR	オート	40
音量	20	40
詳細設定		40

■セキュリティ [ ]

項目の詳細（☞41 ページ参照）

サブメニュー項目	工場出荷時
パスワード設定	オフ
パスワード変更	ー
テキスト設定	オフ
テキスト変更	ー

■ワイヤレス [ ]

項目の詳細（☞42 ページ参照）

サブメニュー項目	工場出荷時
ネットワーク	1
プロジェクター名変更	ー
パスワード設定	オフ
パスワード変更	ー
WEB 制御	オフ
ライブモード割り込み	オフ
ステータス	ー
初期化	ー

お知らせ：

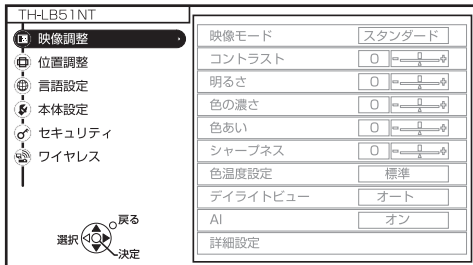
● サブメニューの項目および、工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

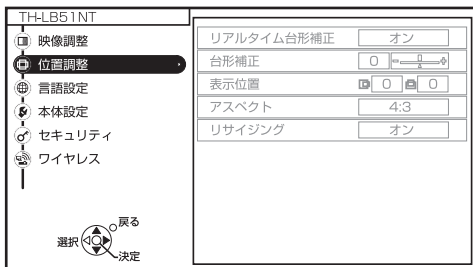
調整と設定

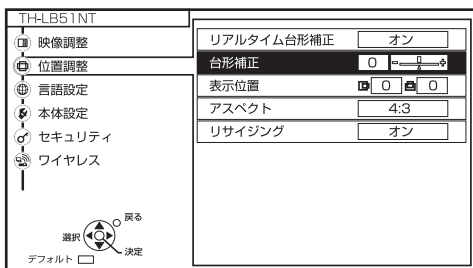
メニュー画面の操作方法

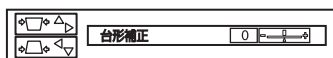
■操作の手順

1）メニュー (MENU) ボタンを押す

メインメニューが表示されます。

2）▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

「映像調整」「位置調整」「言語設定」「本体設定」「セキュリティ」「ワイヤレス」の6つの項目から調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。

3）決定ボタンを押す

サブメニューが表示され、サブメニューの項目を選択できるようになります。

4）▲▼ ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ を押して設定の切り換えや調整を行う

設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。

調整値が工場出荷状態以外になると、調整数値とバースケール内の調整マークが緑色になります。項目名のみの項目は、決定ボタンを押すと、次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

お知らせ :
- メニュー画面が表示されている状態で戻るボタンまたはメニューボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 操作をしなければ個別調整画面の表示は約5秒で消えます。
- サブメニューの項目については 28、29 ページをご覧ください。

■調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、調整の値が工場出荷時の状態に戻ります。

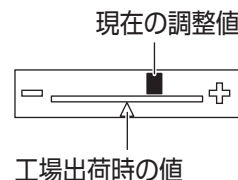
デフォルト を押す

表示されている画面によって動作が異なります。

● サブメニュー画面表示時
表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。

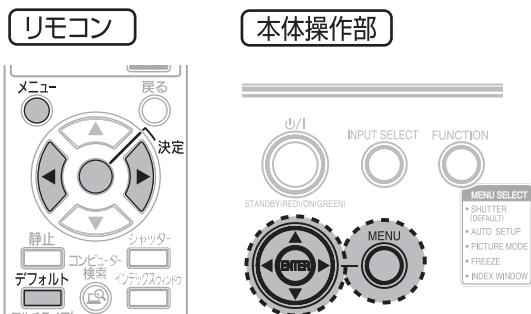
● 個別調整画面表示時
調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。

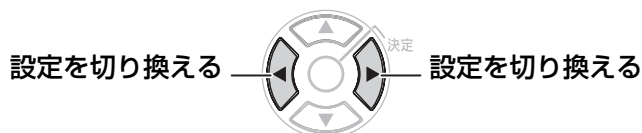
お知らせ :
- 全ての設定を一括に工場出荷時の状態には戻せません。
- 「デフォルト」ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下の三角マークは、工場出荷時の状態を示しています。
また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。

調整と設定

「映像調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「映像調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

● 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調整を行ってください。

リモコン　本体操作部

映像モード

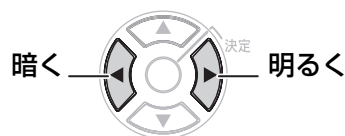
ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定することができます。

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

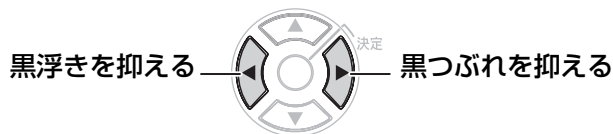
スタンダード	標準的な明るさでご覧になる場合
ダイナミック	より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合
黒板	黒板に投写する場合
ナチュラル	暗い部屋でご覧になる場合

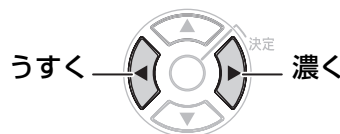
お知らせ：

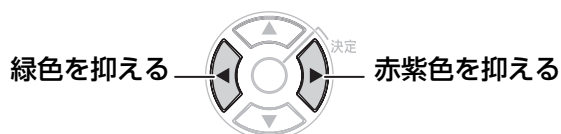
● 映像モードを切り換えた際に、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。
●「本体設定」の「詳細設定」→「黒板モード」が「オフ」の時、「黒板」表示はスキップされます。
● ファンクションボタン（☞37 ページ）を「映像モード」に設定している場合は、本体操作部の「FUNCTION」ボタンを押すことでも「映像モード」を切り換えできます。

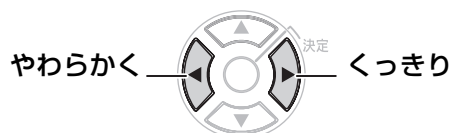
コントラスト

色の明暗度を調整します。
（「明るさ」を先に調節してください。）

明るさ

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

色の濃さ

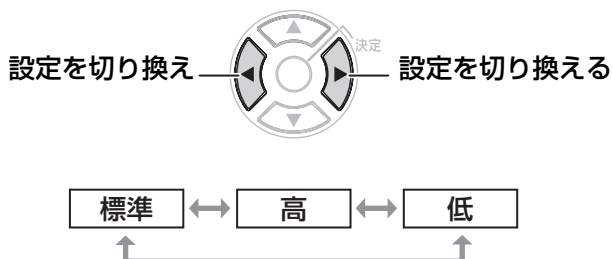
[S ビデオ / ビデオ / コンポーネント信号入力時のみ]
色の濃さを調整します。

色あい

[S ビデオ / ビデオ（NTSC/NTSC4.43）/ コンポーネント信号入力時のみ]
肌色の部分を調整します。

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

お知らせ：

● 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

標準	標準的な設定
高	映像の白色部分を青みがからせたい場合
低	映像の白色部分を赤みがからせたい場合

■sRGB に対応した映像にするには

sRGB とは、IEC(International Electrotechnical Commission) で定められた色再現国際規格 (IEC61966-2-1) です。sRGB に対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

① **メニュー (MENU) ボタンを押し、メニュー画面を表示させ、▲▼ ボタンで「映像調整」を選択してエンター (ENTER) ボタンを押す**

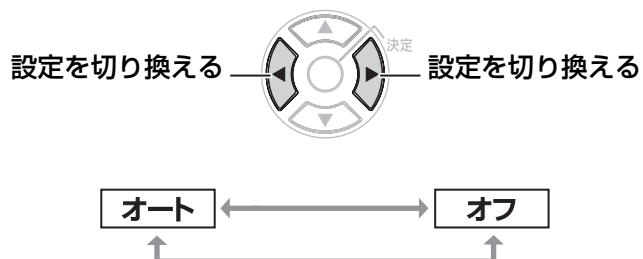
② **▲▼ ボタンを押し「映像モード」を選択し、◀▶ ボタンで「ナチュラル」に設定する**

③ **デフォルト（DEFAULT）ボタンを押す**

④ **▲▼ ボタンを押し「色温度設定」を選択し、◀▶ ボタンで「標準」に設定する**

お知らせ :
- コンピューター信号入力時のみ、sRGB に対応します。(「ランプパワー」を「標準」、「AI」を「オフ」、「デイライトビュー」を「オフ」設定時)

デイライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

オート	周囲の明るさにより自動調整
オフ	デイライトビュー無効

お知らせ :
- プロジェクターの上面に物などを置くと「オート」モードが正常に動作しない場合があります。
- 「デイライトビュー」は「本体設定」の「設置方法」で「リア / 床置き」または「リア / 天つり」を選択した場合、「オート」は設定できません。

AI

映像に合わせてランプ制御を行い、最適な映像を投写します。

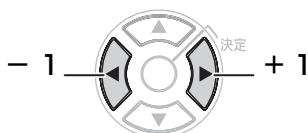
オン	AI 有効
オフ	AI 無効

お知らせ :
- ランプパワーを「エコモード」に設定すると AI は無効になります。(☞38 ページ)

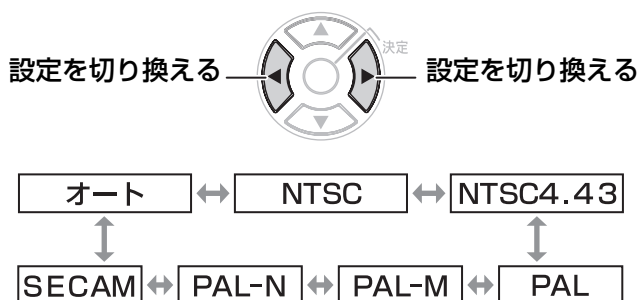
詳細設定

映像全体の画質を細かく設定できます。
「決定」ボタンを押すと「詳細設定」メニューが表示されます。

■ホワイトバランス

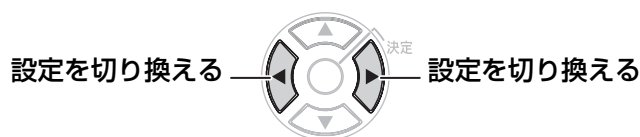
[コンピューター信号入力時のみ]
映像の白色部分に色が付いているような場合に調整します。

アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
ホワイトバランス　赤	0
ホワイトバランス　緑	0
ホワイトバランス　青	0

■TV システム

[S ビデオ / ビデオ信号入力時のみ]
入力信号に合ったカラー方式を設定します。

お願い :
- 通常は「オート」に設定してください。
- 古いビデオテープなど入力信号が劣化しているために、正常な映像が映らない場合は、それぞれのカラー方式に設定を切り換えてください。
  日本国内では NTSC（☞54 ページ）の信号方式が使われています。

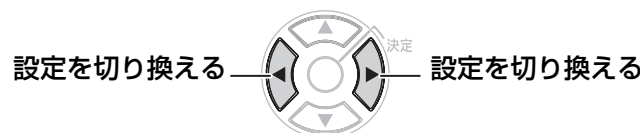
お知らせ :
- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL60/PAL-N/SECAM の中から自動的に判別します。

■静止画モード

[S ビデオ / ビデオ信号入力時のみ]
静止画のちらつき（垂直方向のゆれ）をおさえたい場合に設定します。

オン	静止画モード有効
オフ	静止画モード無効

お願い :
- 動画をご覧になる場合は、「オフ」に設定してください。

■ノイズリダクション

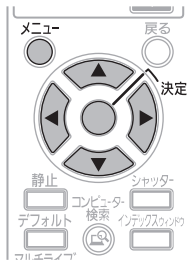
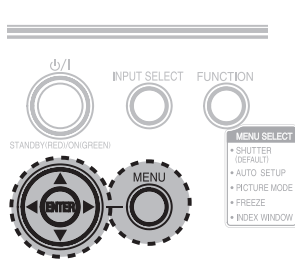
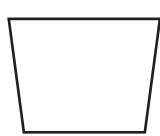
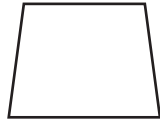
[S ビデオ / ビデオ信号入力時のみ]
入力信号が劣化している際に生じるノイズを除去することができます。

オン	ノイズリダクション有効
オフ	ノイズリダクション無効

お願い :
劣化が少ない入力信号に「ノイズリダクション」を「オン」に設定すると、映像がイメージと異なる場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

「位置調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「位置調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

● 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで調整を行ってください。

リモコン

本体操作部

リアルタイム台形補正

本機は、設置時の傾きを検知し自動的に台形ひずみを補正することができます。

設定を切り換える
設定を切り換える

オン	リアルタイム台形補正有効
オフ	リアルタイム台形補正無効

台形補正

本機には、設置時の傾きに合わせて自動的に台形ひずみを補正する機能（リアルタイム台形補正）がありますが微妙に傾けた場合やゆっくりと傾けた場合、またはスクリーンが傾いている場合は台形ひずみを正しく補正できない場合があります。このような場合はリアルタイム台形補正を「オフ」に設定して下の手順で手動で台形ひずみを補正してください。

画面の状態	操作

お知らせ：

● 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して ± 30 度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、ピントが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。

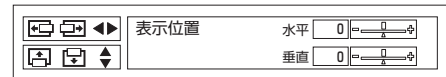
● 台形補正を行うと画像サイズも変化します。

● メニュー画面、スタートアップロゴに台形補正は機能しません。

● 補正量、レンズズーム量によっては、画像の縦横比がずれる場合があります。

● リアルタイム台形補正が「オン」のままでも、手動で台形補正量を微調整することができます。但しこの場合、次に電源をオンしたとき本機の傾きが前回と異なる場合には、補正量は一旦リセットされ、もう一度リアルタイム台形補正が働きます。リアルタイム台形補正が「オフ」の場合は、電源をオフしても常に補正量は記憶されます。

表示位置

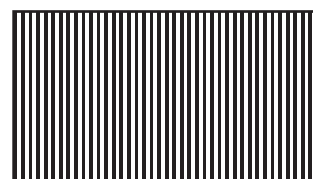
[S ビデオ / ビデオ / コンピューター / コンポーネント信号入力時のみ]

水平：映像を左右に調整します。

垂直：映像を上下に調整します。

ドットクロック

[コンピューター信号入力時のみ]

縦縞模様を投写した際に発生するノイズを軽減する際に調整します。

下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生する場合があります。この場合に ◀▶ ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。

お願い：

●「クロックフェーズ」より先に調整してください。

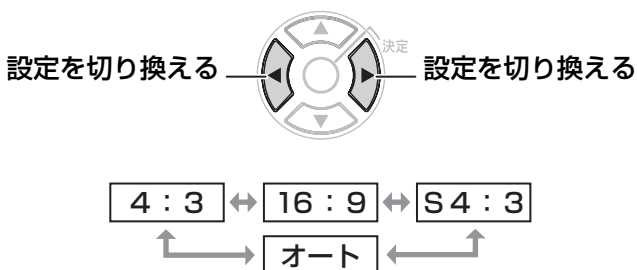
調整と設定

クロックフェーズ

[コンピューター / コンポーネント信号入力時のみ]
「ドットロック」調整後さらにノイズを軽減させることができます。
◀▶ ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ :
- ドットクロック周波数が 100 MHz を超える信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくならない場合があります。（☞49 ページ）

アスペクト

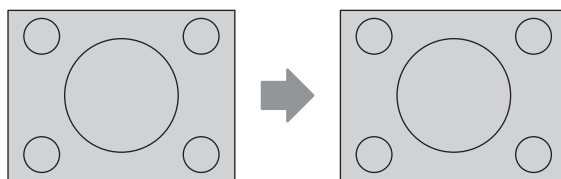
[S ビデオ / ビデオ / コンポーネント (480i 、576i、480p、576p) 信号入力時のみ]
映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。
入力する信号によって下図のように切り換わります。

お願い :
- アスペクト比 4:3 の映像を 16:9 で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比 4:3 でご覧ください。

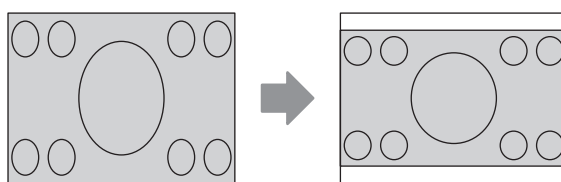
お知らせ :
- 入力している信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。
- 「オート」に設定すると、入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換わります。

S1 映像信号とは

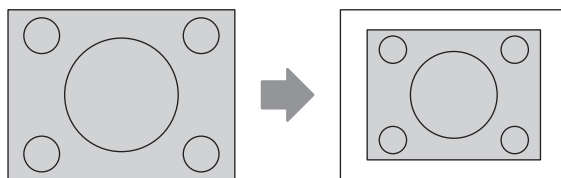
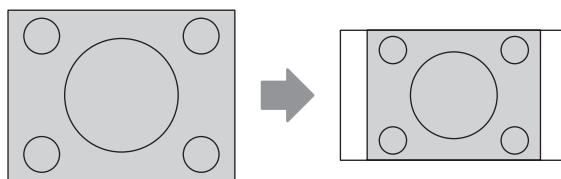
- S1 映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている 16:9 の映像信号です。
- 上記の設定を「オート」にしていれば、本機は検知信号を検出し、自動的に 16:9 に変換して映像を投写します。

■4：3

入力信号をそのまま投写します。

■16：9

アスペクト比を 16:9 に圧縮して投写します

■S4：3

入力信号のサイズを 75%に圧縮して投写します。
（16：9 スクリーンに 4：3 映像を投写する場合に有効です。）

（入力信号が 4:3 信号の場合）

（入力信号が 16:9 信号の場合）

■オート

S ビデオ端子に S1 映像信号入力時、自動的に 16：9 に切り換えて投写します。（S ビデオのみ）

リサイジング

[S ビデオ / ビデオ / コンピューター / コンポーネント信号入力時のみ]
入力信号の画素数が本機の液晶パネルの画素数より小さい場合に設定します。

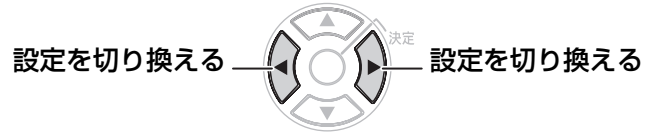
設定を切り換える
設定を切り換える

オフ	リサイジング無効
オン	リサイジング有効

お知らせ :
- 「オン」に設定した場合、入力信号の画素数を液晶パネルの画素数に変換して投写されますので、映像によっては見えづらくなる場合があります。
- 「オフ」に設定した場合、映像が小さく投写されますので、ズーム調整をするか設置位置を前後させてください。また「デジタルズーム」、「台形補正」、「リアルタイム台形補正」、「インデックスウィンドウ」などの設定はできません。
- 通常は「オン」に設定してください。

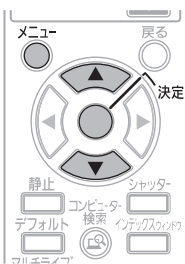
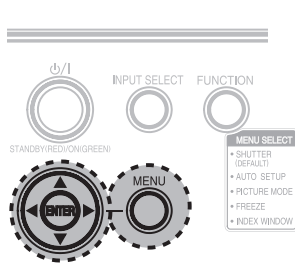
フレームロック

[コンピューター信号入力時のみ]
一部のコンピューター信号の動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

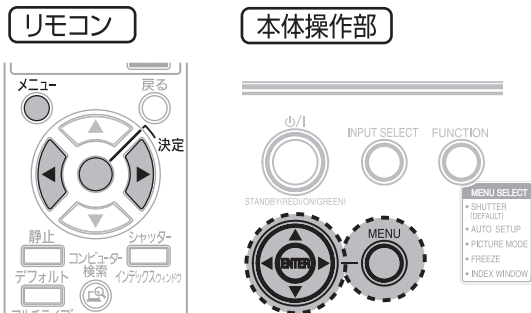
設定を切り換える

オン	フレームロック有効
オフ	フレームロック無効

「言語設定」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「言語設定」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。
- 項目を選んだら ▲▼ ボタンで言語の設定を行ってください。

リモコン

本体操作部

設定している言語に表示されます

「本体設定」について

「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「本体設定」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定を行ってください。

入力ガイド

画面右上に現在選択している入力端子名を表示するか設定します。

詳細表示	詳細な入力端子情報を表示
オフ	入力ガイド無効
簡易表示	入力端子名のみ表示

お知らせ :
- 「詳細表示」に設定すると、
  コンピューター１ / コンピューター２入力で信号が入力されていない場合、コンピューター接続時のヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面を表示させたくない場合は、「簡易表示」または「オフ」に設定してください。

■コンピューター接続時のヘルプ画面について

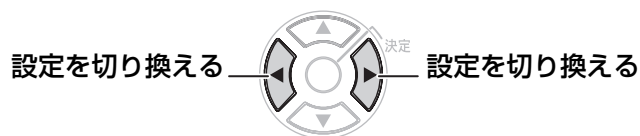
コンピューター側の映像出力の切り換えコマンドについては、下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic NEC	Fn ＋ F3
HP SHARP TOSHIBA	Fn ＋ F5
IBM (Lenovo) SONY	Fn ＋ F7

メーカー	映像出力切り換えコマンド
DELL EPSON	Fn ＋ F8
FUJITSU	Fn ＋ F10
Apple	F7
その他	Fn ＋ □/□

お知らせ :
コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。

スタートアップロゴ

電源を入れたときに「Panasonic」ロゴを表示するかを設定します。（約 30 秒間表示します。）

オン	スタートアップロゴ有効
オフ	スタートアップロゴ無効

ファンクションボタン

本体の FUNCTION ボタンによく使う操作を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。
設定できる項目は、「シャッター」「自動位置補正」「映像モード」「静止」「インデックス」です。

1） ◀▶ ボタンで FUNCTION ボタンに設定したい項目を選ぶ

シャッター	シャッター機能を動作させる（☞40、25 ページ）
自動位置補正	自動位置補正機能を開始（☞39、26 ページ）
映像モード	映像モードを切り換える（☞31 ページ） ● FUNCTION ボタンを押すと現在選択されている映像モードを表示します。ボタンを押すごとに順次映像モードが切り換ります。 ● 約 5 秒間操作しなければ映像モードの表示は消え、確定します。
静止	静止機能を動作させる（☞25 ページ）
インデックス	インデックスウィンドウ機能を動作させる（☞40、26 ページ）

COMPUTER 2 入出力選択

コンピューター2入力 / コンピューター1出力 (COMPUTER 2 I N/1 OUT) 端子で信号を入力するか、出力するかを設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

入力	COMPUTER 2 IN に設定
出力	COMPUTER 1 OUT に設定

ランプパワー

ランプの明るさを切り換えます。

設定を切り換える 設定を切り換える

標準	高輝度の美しい映像をお楽しみいただけます。
エコモード	輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。

お知らせ :
- 信号が入力されていない場合は、設定できません。
- 狭い会議室など高い輝度を必要としない場合や、映画などをご覧になる場合は「エコモード」に設定されることをおすすめします。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を表示します。

お願い :
- ランプを交換する場合は、「ランプユニットの交換手順」(☞46 ページ) にしたがって交換してください。

お知らせ :
- ランプユニットの交換時期を確認してください。(☞45 ページ)
- ランプの寿命は使用条件（電源の入切の回数など）により変わります。

電源オフタイマー

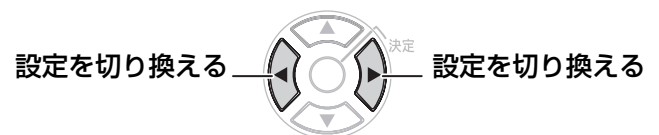
設定時間までに入力信号がないと自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

設定を切り換える 設定を切り換える

オフ	オフタイマー無効
15 分～ 60 分	5分間隔で設定可能

ダイレクトパワーオン

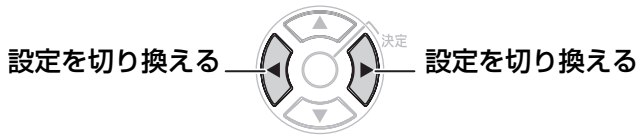
電源コードを接続したときの、本機の起動方法を設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

オフ	ダイレクトパワーオン無効
オン	ダイレクトパワーオン有効

お知らせ :
- 「オン」に設定した場合、電源コードを接続すると、投写が開始されます。
- 「オフ」に設定した場合、電源コードを接続すると、電源プラグを抜く前の状態で起動します。前回、投写中に電源プラグを抜いた場合は、投写を開始します。

本体ボタン操作

本体操作部のボタン機能を設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

お知らせ :
- 「無効」に設定すると確認画面が表示されますので「はい」を選んでください。「有効」に戻す場合は、リモコン操作で「有効」に設定してください。

自動位置補正

通常は「オート」に設定してください。

設定を切り換える 設定を切り換える

オート	投写中の映像信号がコンピューター信号に変わったとき、自動位置補正を行ないます
ボタン	「自動位置補正」ボタンを押したときのみ有効（☞26 ページ）

入力検出

電源を入れた時と「自動位置補正」ボタンを押した時に、信号が入力されている端子を自動的に検出し投写するかを設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

オン	自動入力検出有効
オフ	自動入力検出無効

お知らせ :
- 投写映像が無信号時のみ機能します。
  入力信号を投写中は自動的には切り換わりません。
- 通常は「オン」に設定してください。

設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。
（☞17 ページ）

設定を切り換える 設定を切り換える

フロント / 床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント / 天つり	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
リア / 床置き	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
リア / 天つり	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

高地設定

海抜 1 400 m 以上の場所でご使用の場合のみ設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

オフ	通常の環境で使用のとき
オン	高地で使用のとき

お知らせ :
- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、音が大きくなります。

RGB/YPBPR

[一部の信号入力時のみ有効となります。(VGA60, 480i, 576i, 480p,576p, 1 080/60i, 1 080/50i,720/60p)]
コンピューター 1 入力 (COMPUTER1 IN) 端子とコンピューター2入力 / コンピューター 1 出力 (COMPUTER 2 I N/COMPUTER 1 OUT) 端子に入力する信号を選択します。

設定を切り換える 設定を切り換える

オート	同期信号により、コンピューター信号 / コンポーネント信号を自動的に選択します。
RGB	コンピューター信号を入力するとき設定してください。
YPBPR	コンポーネント信号を入力するとき設定してください。

お知らせ :
- 通常は「オート」に設定してください。「オート」で正常に映らない場合は入力する信号に合わせて「RGB」「YPBPR」を設定してください。

音量

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。◀▶ ボタンで調整してください。

詳細設定

さらに本機の機能を詳細に設定ができます。

■インデックスウィンドウ

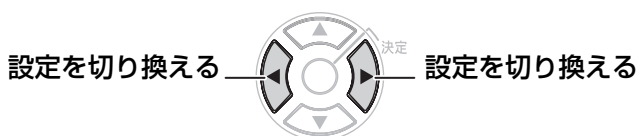
投写中の画像をメモリーに記録し、静止画と動画の2 画面表示にすることができます。(☞26 ページ)

■シャッター

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消して、消費電力を少なくすることができます。
(☞25 ページ)

■OSD デザイン

オンスクリーンメニュー（OSD）の背景を設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

タイプ 1	背景を半透明の黒色で表示
タイプ 2	背景を青色で表示
タイプ 3	背景を半透明の紺色で表示

■SXGA モード

[コンピューター（SXGA）信号入力時のみ]
SXGA 信号入力時に投写映像がスクリーンからはみ出す場合に設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

SXGA	通常の場合
SXGA+	画面が切れている場合

■XGA モード

[コンピューター（XGA）信号入力時のみ]
XGA 信号入力時に投写映像がスクリーンからはみ出す場合に設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

XGA	通常の場合
WXGA	画面が切れている場合

■黒板モード

「映像モード」から「黒板」を削除したい場合に設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

オン	黒板モード（選択可能）
オフ	黒板モード削除

■バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

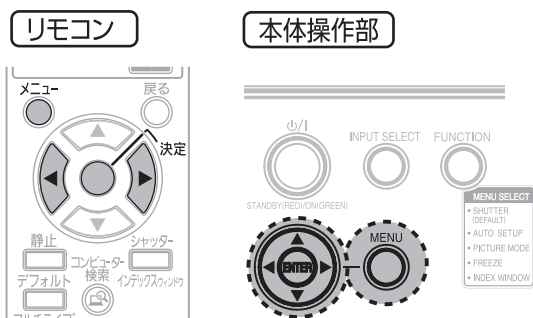
設定を切り換える 設定を切り換える

ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示

セキュリティ

「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「セキュリティ」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。
- はじめてご使用になる場合 ▲▶▼◀▲▶▼◀ ボタンを順に押し、「決定」ボタンをおしてください。
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定を行ってください。

リモコン

本体操作部

お願い：
- パスワード設定やテキスト設定は、セキュリティ画面を表示してから行ってください。
- 以前にパスワードを変更された場合、変更したパスワードを入力し、「決定」ボタンを押してください。

パスワード設定

電源を入れたときにパスワード入力画面を表示させることができます。

設定を切り換える
設定を切り換える

オン	パスワード入力表示
オフ	パスワード入力非表示

お知らせ：
- 正しくパスワードを入力しないと電源ボタン以外の操作ができなくなります。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。

1）▲▼◀▶ ボタンでパスワードを設定する（最大８つのボタン操作を設定できます。）

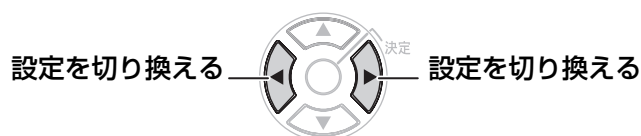
2）「決定」ボタンを押す

3）再度パスワードを入力し、「決定」ボタンを押す

お知らせ：
- パスワードを入力しても画面上は、＊印で表示されます。
- パスワードを間違えると画面上にエラーメッセージが表示されます。再度パスワードを入力してください。

テキスト設定

投写中の映像の下に常時設定した文字を表示させることができます。

設定を切り換える
設定を切り換える

オン	テキスト設定有効
オフ	テキスト設定無効

テキスト変更

「テキスト設定」を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

1）▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力していく（22 文字まで続けて入力できます。）
- 「削除」を選べば、カーソルで選択されている１文字を消去できます。

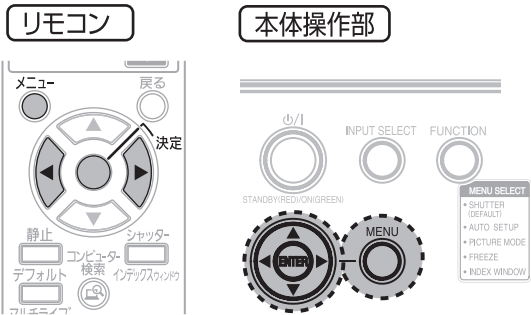
2）▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す
- 中止する場合「キャンセル」を選んでください。

ワイヤレス

「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「ワイヤレス」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

● 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定を行ってください。

リモコン

本体操作部

お知らせ：

● コンピューターとネットワーク通信する場合に設定します。詳しくは、付属の CD-ROM を参照ください。

■ネットワーク

ネットワーク設定を切り換えたり、設定することができます。

■プロジェクター名変更

本機のプロジェクター名を設定することができます。

■パスワード設定

ワイヤレス通信時にパスワードの確認を行う場合は、「オン」に設定します。

■パスワード変更

パスワードを変更することができます。

■WEB 制御

ネットワーク通信しているコンピューターから本機を制御したい場合「オン」に設定します。

■ライブモード割り込み

ネットワークでライブモード中に他のユーザーがライブモードで接続することを許可する場合には「オン」に設定します。

■ステータス

ワイヤレスの設定を表示します。

■初期化

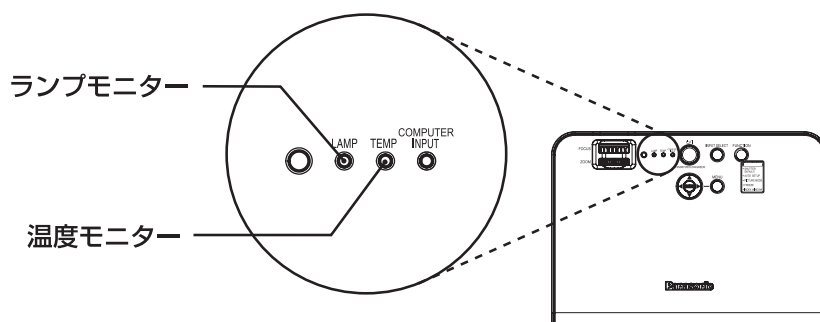
ワイヤレスの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

温度、ランプモニター

モニターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると温度とランプのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。
モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い：
- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。（☞23 ページ）

お知らせ：
- 電源の状態は電源ボタンのモニターで確認してください。（☞21 ページ）

■ランプモニター

点灯状況	● 赤色点灯	● 赤色点滅	
状態	ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が 1 800 時間（「ランプパワー」を「標準」、「AI」を「オフ」設定時）に達すると点灯します。	光源ランプが点灯しない、または途中で不点灯になった。	
お調べください	電源を入れたときに、ランプの交換を促すオンスクリーン表示がされていませんか。	電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。	電源を切ってもう一度電源を入れてみてください。
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。 （☞46 ページ）	光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。	「電源を切る」（☞23 ページ）の手順で電源を切り、販売店にご相談ください。

お知らせ：
- 上記の処置をしても、ランプモニターが点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご相談ください。
- 投写時に、「ランプの異常を検出しました。販売店までご連絡ください」のメッセージが表示された場合は、販売店に修理をご相談ください。
  この場合ランプモニターが赤色点滅し、約 10 分後に自動的に電源が切れます。

■温度モニター

点灯状況	● 投写中に赤色点灯 ● 電源オフの状態で赤色点滅（自動的に投写を中止）		
状態	周囲温度または内部が異常に高温になっています。		
お調べください	吸排気孔がふさがれていませんか。	気温の高いところで使用していませんか。	海抜 1 400 m 以上の場所で使用していませんか。
処置方法	吸排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。	仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。 （☞53 ページ）	電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。2 分以内に「高地設定」を「オン」してください。 （☞39 ページ）

お知らせ：
- 上記の処置をしても、温度モニターが点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

お手入れ / 部品交換

お手入れ／部品交換の前に

- お手入れ／部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。（☞20、22 ページ）
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。（☞23 ページ）

お手入れ

■キャビネット

汚れやほこりは柔らかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■レンズ

レンズや前面ガラスにゴミやほこりが付着すると、スクリーンにゴミやほこりが拡大されて映ります。
柔らかいきれいな布でふいてください。
レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください。

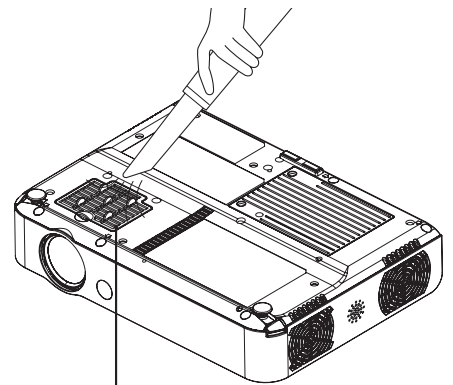
■エアーフィルター

エアーフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度 (TEMP) モニターが点灯し、電源が切れます。電源が切れると温度（TEMP）モニターが点滅します。掃除は約 100 時間を目安に行ってください。

① やわらかい毛布等の上に本機を裏返して置く

② たまったほこりを掃除機で吸い取る

お知らせ :

- 掃除機でほこりが取れない場合は、右記の手順でエアーフィルターを取り外し、水につけて手でほこりを洗い流してください。（中性洗剤などは使用しないでください。）
  また、乾燥させたあと、取り付けてください。
- 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアーフィルターの交換時期です。
  交換用のエアーフィルターは別売り部品です。（サービス部品扱い）
  ご購入の際は販売店にご相談ください。
  また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアーフィルターも交換ください。
  （交換用のランプユニット［ET-LAB50］には、エアーフィルターが付属しています。）

部品交換

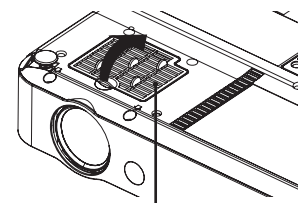
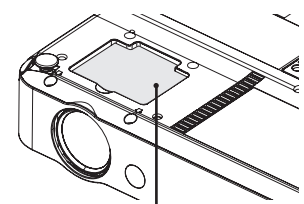
■エアーフィルター

① やわらかい毛布等の上に本機を裏返して置く

② エアーフィルターカバーを外す

③ エアーフィルターを交換し、エアーフィルターカバーを取り付ける

お願い :

- エアーフィルターは必ず取り付けてご使用ください。
  エアーフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

■ランプユニット

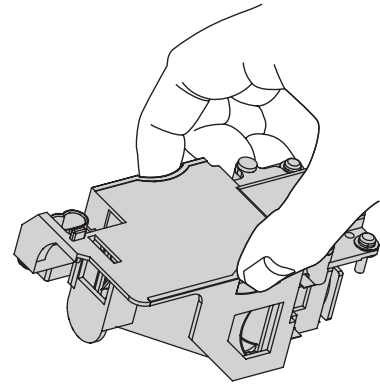
ランプユニットは消耗部品です。使用時間を確認し、定期的な交換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

⚠警告

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待って）行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットの表面はとがっていたり、引っかかる形状ですので、交換する際は必ずランプユニットの取っ手を持って取りあつかってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。またプロジェクターを天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で作業をしたり、顔を近づけないでランプを水平に引き出して交換してください。

お知らせ：
- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
  ランプユニット品番：ET-LAB50（サービス部品扱い）
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。
交換の目安は 2 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、2 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。
2 000 時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため約 10 分後、自動的に消灯します。

	オンスクリーン表示 ランプを交換してください。	ランプモニター LAMP
1 800 時間以降	30 秒間表示されます。また 30 秒以内にいずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000 時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示は消えません。	

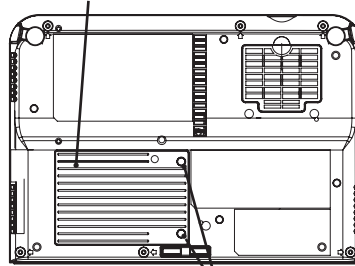
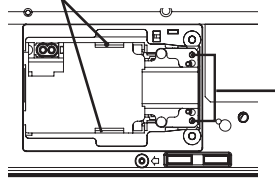
お知らせ：
- この説明で記載している使用時間は、「本体設定」メニューの「ランプパワー」を「標準」で「映像調整」メニューの「AI」を「オフ」に設定して使用された場合の時間です。「ランプパワー」を「エコモード」または「AI」を「オン」に設定して使用されますと、長くランプを使用することができます。
- 2 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、51 ページや保証書をご覧ください。

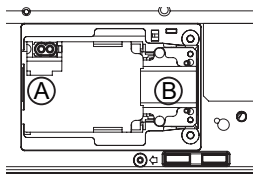
■ランプユニット交換手順

お願い：

- プロジェクターを天井に取り付けている場合、ランプユニットの真下で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。
- ランプユニットの使用時間が 2 000 時間（「ランプパワー」を「標準」で「AI 」を「オフ」設定時）を越えた場合は、電源を入れてから約 10 分間のみ本機を動作させることができます。手順 ⑦ ～ ⑫ の操作を 10 分以内に行ってください。

①「電源を切る」（☞23 ページ）の手順を守り、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。

② 本体後面のランプユニット収納扉固定ねじ（2本）をプラスドライバーで外し、ランプユニット収納扉を取り外します。

③ ランプユニットを固定しているねじ（2本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと本体から引き出す。

④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじ（2本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

挿入時、特にⒶ部とⒷ部をよく押し込んでください。

⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、ランプユニット収納固定ねじ（2本）をプラスドライバーでしっかりと締め付ける。

⑥ 電源コードを接続する

⑦ 電源ボタンを押し、映像投写を開始する

お願い：

- 「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源コードを接続するだけで投写を開始します。（☞38 ページ）

⑧ メニューボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ、▲▼ ボタンでカーソルを「本体設定」の項目へ移動する

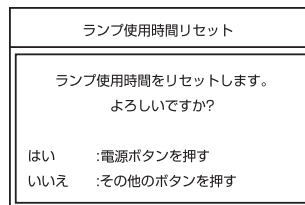
⑨ エンターボタンを押し、「本体設定」画面を表示させ、▲▼ ボタンで「ランプ使用時間」の項目を選択する

⑩ エンターボタンを約 3 秒間押し続ける

- 「ランプ使用時間リセット」の確認画面が表示されます。

ランプ使用時間リセット

ランプ使用時間をリセットします。
よろしいですか?

はい　:電源ボタンを押す
いいえ　:その他のボタンを押す

お知らせ：

- 電源ボタン以外のボタンを押すとランプ使用時間リセットがキャンセルされ、確認画面が消えます。

⑪ 電源ボタンを押す

- ランプが消え映像の投写が停止し、電源ボタンが赤色に点灯したら、電源プラグを抜いてください。

⑫ ランプ使用時間が「0」にリセットされます

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。
詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● コンセントに電源がきていますか。 ● ブレーカが落ちてませんか。 ● 温度モニターまたはランプモニターが点灯または点滅していませんか。 ● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	20 20 — 43 46
映像がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。 ● 入力切換は正しく設定されていますか。 ● 明るさ調整が最小になっていませんか。 ● 本機に接続している外部機器は正常に動作していますか。 ● シャッター機能を使用していませんか。	18、19 25 31 — 25
映像がボヤけている	● レンズのピントは合っていますか。 ● 投写距離は適切ですか。 ● レンズが汚れていませんか。 ● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	24 16 44 16
色が薄い／色あいが悪い	●「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 ● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	31 —
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。 ● 音量調整が最小になっていませんか。 ● 音声出力 (VARIABLE AUDIO OUT) 端子に、ケーブルが接続されていませんか。	18、19 27、40 —
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。 ● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。 ● リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。 ● リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。 ● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	— 12 12 12 12
本体操作部のボタンが働かない	●「本体ボタン操作」の設定が「無効」になっていませんか。「無効」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部の「ENTER」ボタンを押しながら「MENU」ボタンを２秒以上押せば設定を「有効」に戻すことができます。	—
正常な映像が映らない	● TV システムの選択は正しく行われていますか。 ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	33 — 49
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。（10m 以下にしてください。） ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。（例：「Fn」＋「F3」あるいは「Fn」＋「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。） ● コンピューター 入力 (COMPUTER INPUT) モニターが消灯している場合は、コンピューターから信号が出力されていないことが考えられます。 ● COMPUTER 2 IN/1 OUT 端子に信号を入力している場合に「本体設定」メニューで「COMPUTER 2 入力選択」を「出力」に設定していませんか。	— — 14 38

点検とお手入れ

付録

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

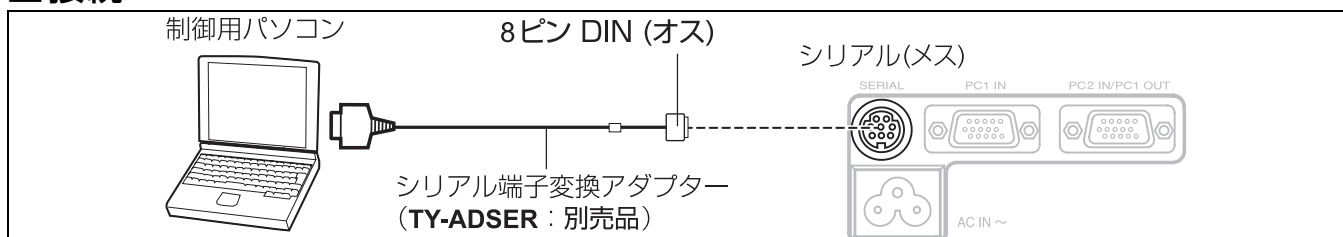
対応信号	解像度（ドット）*1	走査周波数		ドットクロック周波数(MHz)	画質*2	リサイジング*3	フレームロック*4	入力端子<信号>
		水平(kHz)	垂直(Hz)					
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	—	A	OK		S -VIDEO/VIDEO <S ビデオ/ビデオ信号>
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	—	A	OK		
480i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	OK		COMPUTER1 IN/ COMPUTER2 IN <コンピューター信号/コンポーネント信号>
576i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	OK		
480P	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	OK		
576P	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	OK		
1 080/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A			
1 080/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A			
720/60P	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	A			
VGA400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A	OK		COMPUTER1 IN/ COMPUTER2 IN <コンピューター信号>
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A	OK		
VGA480	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	OK	OK	
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	OK		
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	OK		
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	OK		
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	OK		
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	OK		
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	OK	OK	
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	OK		
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	A	OK		
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A	OK		
MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	OK		
XGA	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	AA		OK	
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	AA			
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	AA			
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	AA			
	1 024 x 768i	35.5	87.0	44.9	AA			
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A			
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	B			
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	B			
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	B			
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	B		OK	
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	B		OK	
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	B			
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B			
SXGA+	1 400 x 1 050	64.0	60.0	108.0	B		OK	
	1 400 x 1 050	65.1	59.9	122.4	B		OK	
UXGA60	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B		OK	
WXGA*5	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	A		OK	
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	A		OK	
	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	A		OK	

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。
*2 画質を表す記号は下記の通りです。AA : 最高の画質で投写できます。
A : 画像処理回路で変換を行い投写しています。B: データを間引いて簡易投写しています。
*3「リサイジング」(☞36 ページ) を設定できます。
*4 フレームロック機能に対応している信号です。（☞36 ページ）
*5 CVT 規格に準拠。

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■接続

その他

■ピン配列と信号名

8ピン DIN（外側から見た図）	ピン NO.	信号名	内容
① ② ③ ⑤ ⑥ ⑧	① ② ⑥		内部で接続されています
	③	RXD	受信データ
	④	GND	グランド
	⑤	TXD	送信データ
	⑦ ⑧		NC（何も接続されていません）

■通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。
パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

お願い :

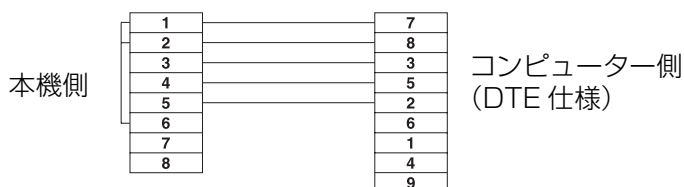
- ランプ点灯開始後約 10 秒間、およびランプ消灯から冷却ファンが停止してスタンバイに戻った後（ランプ消灯から約 90 秒後）約 1 秒間はコマンドを受信できません。
  必ず上記の時間が経過してからコマンドを送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

お知らせ :

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがコンピューター側に送信されます。

■ケーブル仕様

＜コンピューターと接続する場合＞

本機側

コンピューター側
(DTE 仕様)

■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。
＜操作コマンド＞

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ● ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ● ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 30 秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000（調整値 0）～ 063（調整値 63）
IIS	入力信号 切り換え	パラメーター VID =ビデオ　SVD = S ビデオ　RG1 =コンピューター 1 RG2 =コンピューター 2　NWP =ワイヤレス
Q$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0 =スタンバイ　1 =ランプ点灯制御中　2 =ランプ点灯　3 =ランプ消灯制御中
OSH	シャッター機能	映像を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに ON ／ OFF が切り換わります。（☞25 ページ） 短時間での ON ／ OFF の切り換えは行わないでください。 シャッター機能がオンの場合、「OSH」以外のコマンドを送信すると“ER401”というコマンドがパソコン側に送信され、シャッター機能がオフに切り換わります。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6ヵ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼されるとき

48 ページの「修理を依頼される前に」や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

お知らせ

パナソニックプロジェクターサポートセンター

ワイヤレスの設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら　0120-872601　**受付時間：月〜金（祝日と弊社休業日を除く）**
9：00〜12：00　13：00〜17：00

URL:http://panasonic.biz/projector/

※書面や電話／ FAX を使用しお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話頂く際には、番号をお確かめの上、お間違えのないようにお掛けください。

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

項目		仕様
使用電源		AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力		240 W（リモコンスタンバイ時約 3 W ただし、ファン停止時）
液晶パネル	パネルサイズ	0.6 型 LCD（アスペクト比 4：3）マイクロレンズアレイ付き
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	786 432 画素（1024 × 768 ドット）× 3 枚
レンズ		マニュアルズーム（1.2 倍）・フォーカスレンズ F 1.6 ～ 1.9、f 18.8 mm ～ 22.6 mm
光源ランプ		165 W UHM ランプ
光出力		2 000 lm
対応走査周波数※ (RGB 信号時)	水平走査周波数	15 kHz ～ 91 kHz
	垂直走査周波数	50 Hz ～ 85 Hz
	ドットクロック周波数	100 MHz 以下
コンポーネント（Y$P_B$$P_R$）信号		480i、576i、480p、576p、1 080/60i、1 080/50i、720/60p
カラー方式		7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM）
投写画面サイズ		33 型～ 300 型
光軸シフト量		6：1（固定）
投写距離		1.1 m ～ 11.1 m
画面アスペクト比		4：3
投写方式		フロント / 床置き、フロント / 天つり、リア / 床置き、リア / 天つり （メニュー設定方式）
スピーカ		4 cm × 2 cm だ円型 1 個
音声実用最大出力		1.0 W （モノラル）
接続端子	ビデオ入力端子	● S ビデオ : 1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω ● 映像 : 1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	コンピューター (RGB) 入力端子	2 系統高密度 D-sub 15 ピン (メス) (1 系統のみ入出力の切り換え可能) ● RGB 入力 / 出力時 R 、G 、B: 0.7 V [p-p] 75 Ω G・SYNC: 1.0 V [p-p] 75 Ω HD: TTL 正 / 負極性自動対応 VD: TTL 正 / 負極性自動対応 ● YP_B P_R 入力 / 出力時 Y: 1.0 V [p-p] (同期信号を含む) 75Ω P_B P_R : 0.7 V [p-p] 75 Ω
	音声入力端子	1 系統　RCA ピンジャック× 2（L-R）　0.5V[rms] 1 系統　M3 ジャック（ステレオミニピンジャック）　0.5V[rms]
	音声出力端子	1 系統　M3 ジャック（ステレオミニピンジャック） （モニター出力、ステレオ対応可） 0V[rms] ～ 2.0V[rms]（可変）
	シリアル端子	DIN 8 ピン　RS-232C 準拠（コンピューター制御用）

※本機が投写できる映像信号について詳しくは（☞49 ページ）対応信号リストをご覧ください。

無線 LAN	準拠規格	IEEE802.11b/IEEE802.11g（無線 LAN 標準プロトコル）
	使用無線チャンネル	IEEE802.11b/IEEE802.11g：1 ～ 13 チャンネル
	通信距離	30m（ただし、使用環境によりことなります）
電源コードの長さ		2.0 m
キャビネット		樹脂成型品（PC+ABS）
外形寸法		● 横幅　297 mm ● 高さ　57 mm（突起部は除く） ● 奥行　210 mm
質量		1.9 kg
使用環境条件		● 使用周囲温度　0 ℃～ 40 ℃ （ただし、39 ページ「高地設定」を「高地」に設定している場合は、0 ℃～ 35 ℃） ● 使用周囲湿度　20 %～ 80 % （結露のないこと）
＜リモコン＞	使用電源	DC 3 V（単 3 形乾電池 2 個）
	操作距離	約 15 m （受光部正面）
	質量	約 117 g（乾電池含む）
	外形寸法	● 横幅　48 mm ● 高さ　163 mm ● 厚さ　24.5 mm
＜オプション＞	天つり金具	ET-PKB50
	フル機能リモコン	ET-RM300
	シリアル端子変換アダプター	ET-ADSER

● この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について
● VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
● S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
● オンスクリーンディスプレイに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ー このマークがある場合は ー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

用語について

取扱説明書内の用語について説明します。

NTSC	National TV Standards Committee の略。 日本や米国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。 （走査線 525 本、30 インタレースフレーム／秒）
PAL	Phase Alternating Line の略。ヨーロッパや中国などで利用されている ビデオ・テレビの信号方式。（走査線 625 本、25 インタレースフレーム／秒）
RGB	Red(赤)、Green(緑)、Blue(青) の光の 3 原色。プロジェクターや、モニタ、カラーテレビなどでは、この 3 つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。
SECAM	Sequentiel Couleur avec Memoire（仏語）の略。 フランス、ロシア、東欧、中東、アフリカなどで利用されているビデオ・テレビの信号方式。（走査線 625 本、25 インタレースフレーム／秒）
アクティブマトリクス方式	液晶パネルの駆動方式のひとつ。画素の 1 つ 1 つに対応するアクティブ素子を追加しているため、クリアで応答速度が速い。
コンポーネントビデオ信号（YPBPR）	S ビデオ信号より、さらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Y は輝度、PB（CB）は青系、PR（CR）は赤系に分けて送る色差方式の信号。
シリアル端子	プロジェクターとコンピューターを接続して、コンピューターで制御することができるシリアル通信規格。ほとんどのコンピューターに標準で搭載されている。 本機は RS-232C（Recommended Standard 232 version C の略）に準拠。
台形ひずみ	スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると映像が台形の形にひずんで投写されること。

索引

その他

外形寸法図

＜単位：mm ＞

愛情点検　長年ご使用のプロジェクターの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても映像がでない
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- 電源入時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った

▶ このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため 20、23 ページの手順でコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　　月　　　日	品番	PT-LB51NT
販 売 店 名	☎（　　　　）－		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

S0607-1077B